

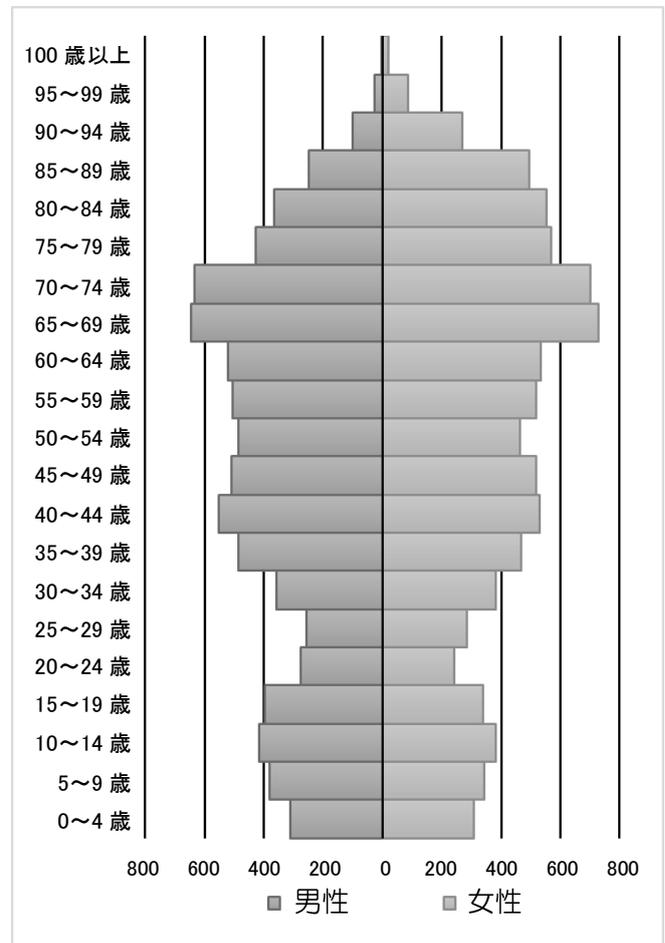
宇和地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|--------|
| 人口 | 16,627 |
| 世帯数 | 7,638 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.2 |
| 年少人口 | 2,139 |
| 生産年齢人口 | 8,542 |
| 老年人口 | 5,866 |
| (うち75歳以上人口) | 3,156 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 35.3 |
| 要支援認定者数 | 297 |
| 要介護認定者数 | 866 |
| 自治会数 | 79 |
| サロン数(高齢者) | 38 |
| 民生・児童委員数 | 50 |
| (1人当たりの世帯数) | 152.8 |

※ 特別養護老人ホーム(松葉寮・開明の杜)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



「地域福祉の将来像を考える住民座談会」

| | | |
|-----|---------------------|------------------|
| 開催日 | 1回目 令和元年6月11日(火) | 2回目 令和元年9月24日(火) |
| 会場 | 西予市教育保健センター 4階 大ホール | |



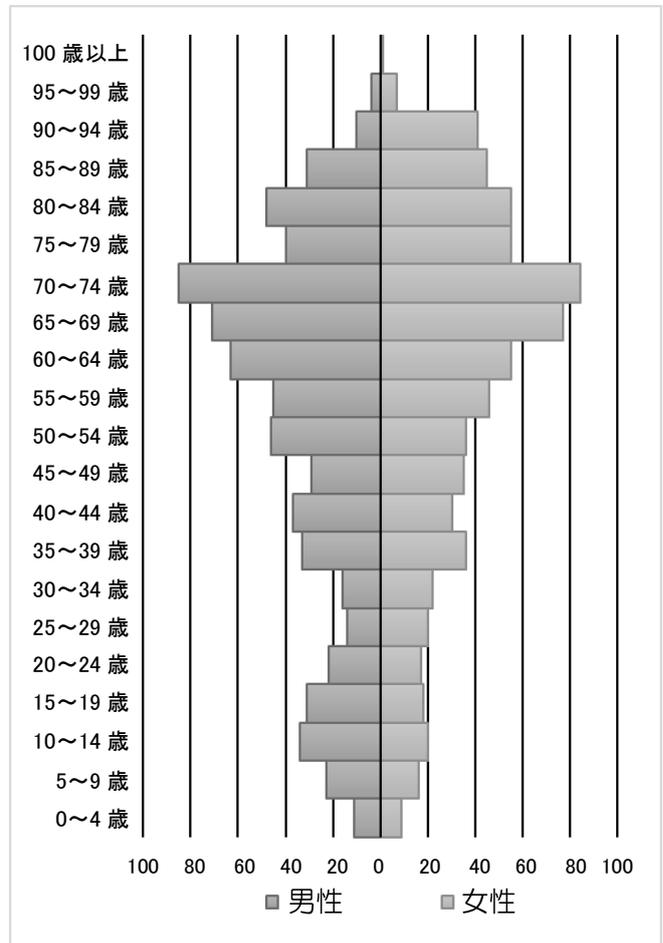
宇和町 多田地区

統計で見る地域の特性

| | |
|------------------|-------|
| 人口 | 1,418 |
| 世帯数 | 701 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.0 |
| 年少人口 | 113 |
| 生産年齢人口 | 651 |
| 老年人口 | 654 |
| (うち75歳以上人口) | 337 |
| 高齢化率(小数点第2位四捨五入) | 46.1% |
| 自治会数 | 8 |
| サロン数(高齢者) | 4 |
| 民生・児童委員数 | 7 |
| (1人当たりの世帯数) | 100.1 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

多田地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・農福連携(いっとき館)
- ・農事組合法人で働き場所の確保

【健康・医療】

- ・ラジオ体操(毎朝)・卓球(週1回)・ヨガ
- ・高齢者向け健康教室(年1回)
- ・クロッケー大会・ディスコン

【地域活動・教育】

- ・老人会活動(月1回)老人会会報(年2回)
- ・小学生の田植え体験・稲刈り
- ・ふれあいサロン(3地区)
- ・食改活動(年5回)・小学生に読み聞かせ活動
- ・独居高齢者宅へ訪問(月2~3回)

【防災・安全】

- ・防災備品の準備が進められている
- ・青パト活動(小学生の見守り)

【生活環境】

- ・隣近所との支え合いがある
- ・粗大ごみを地区で集めている(収集に行く)
- ・だんだんプロジェクト(花植え)
- ・ぼかし肥料作り
- ・通学路の草刈りボランティア
- ・水がきれい(源流)

【その他】

- ・グループホーム活動への参加
- ・お酒作り

多田地区の課題

| | |
|---|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が少ない（高齢者が不便） ・農事組合法人の会員の平均年齢が70歳を超えて、仕事ができにくい <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難聴者への声掛け（災害時等含む） <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館のバリアフリー化ができていない | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者の支援者が、高齢のため支援が難しくなっている <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの周知が十分でない ・買い物弱者 ・空き家が多い <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で自治会組織が弱体化している |
|---|--|

これからの多田地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること | 期間 |
|---------------------------|---|---|------|
| ・店が少ない （買い物弱者） | <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売「とくし丸」 ・えひめ生協 宅配 | <ul style="list-style-type: none"> ・無人販売（野菜など） ・Aコープの充実 ・街中まで頼まれたら連れて行ってくれる人を作る | 1～2年 |
| ・災害時の要援護者への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップを作成 ・民生児童委員は、リストを持っている ・十人組が個別の状況を把握できている | <ul style="list-style-type: none"> ・要援護者を防災マップに記載する | 1～3年 |
| ・高齢化による自治会組織の弱体化 | <ul style="list-style-type: none"> ・会議は、働いている人も出やすいよう夜にする ・誰でも区長や役員になれるようにした | <ul style="list-style-type: none"> ・組織の体制を変える ・女性区長を作る ・サポート役を作る | 5年 |
| ・結婚していない人が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベントをやった（女性の参加が少ない） | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の同窓会と合わせて婚活イベント ・出会いの場を作る | |
| ・人口減少で行事ができない （※例 亥の子） | | <ul style="list-style-type: none"> ・行事のコンパクト化 ・女性も積極的に参加できるようにする ・まとめられる行事は多田地区全体とする | |

社協からのコメント

多田地区は、地域活動（食改活動・読書会・手遊び会・天体観測会・原生林探検他）が充実している。地域の集う場（お宝）が多いことで、住みよい地域になっている。

小学生の見守り活動（青パト）が安心、安全な地域づくりになっている。また、要援護者の防災マップ作成をすることで、高齢者の見守り活動が活発になると思われる。

自治会組織の体制見直しによって、役員負担を減らすことが急務と思われる。

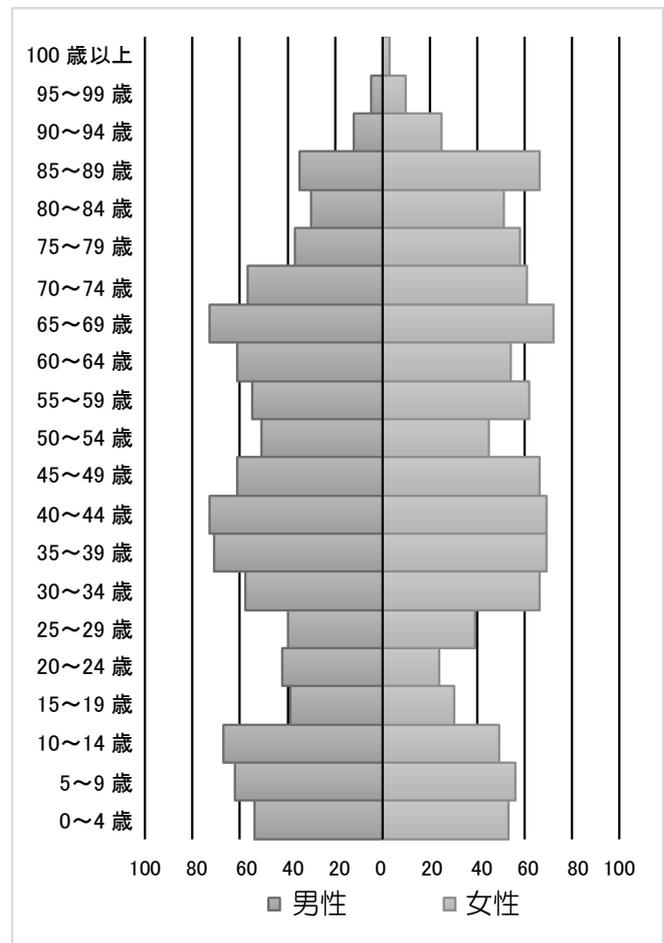
宇和町 中川地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 2,011 |
| 世帯数 | 865 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.3 |
| 年少人口 | 341 |
| 生産年齢人口 | 1,075 |
| 老年人口 | 595 |
| (うち75歳以上人口) | 332 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 29.6% |
| 自治会数 | 7 |
| サロン数(高齢者) | 5 |
| 民生・児童委員数 | 4 |
| (1人当たりの世帯数) | 216.3 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

中川地区の良いところ

【健康・医療】

- ・クローカーを盛んにやっている
- ・病院が近い

【地域活動・教育】

- ・地区運動会、レクバレー大会がある
- ・夏祭りが一時衰退していたが、「壮年会」の活動により、また盛り上がってきた
- ・国道沿いの花いっぱい運動
- ・草刈りなどの地域コミュニティーを通じて、多世代間の交流をしている
- ・ふれあい・いきいきサロンがある
(坂戸・田苗真土・杵所)
- ・料理教室が盛んである

【防災・安全】

- ・自主防災組織がある
- ・壮年会がカーブミラーの清掃をしている
- ・独居高齢者が多く、役員さんが見守りや訪問活動をしている
- ・子どもたちの登下校の見守り活動(朝・夕)

【生活環境】

- ・救急車がよく通り、その音がよく聞こえる
- ・買い物には便利な地域
- ・坂戸は水がきれいだから蛍が出る

【その他】

- ・地域面積が狭いので、人とのつながりはあると思う

中川地区の課題

| | |
|--|--|
| <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護が必要になったときの老後が心配 ・通院時、行きは「デマンドバス」を利用するが、帰りはその時間が合わず、タクシーを利用するのでお金がかかる <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婦人会の解散 ・空所のサロンが消滅の危機にある | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険空家があり、子どもたちの通学が危ない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店が無いので集まる場所がない ・飲食店が少ない ・お店が少なく、コンビニしかない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新興住宅に住む方のお名前が分からない ・組入りしていない人がいる ・区長の仕事が多い |
|--|--|

これからの中川地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|-------------------------|---|---|
| ・車がないと生活できない | | <ul style="list-style-type: none"> ・デマンドバスの周知 ・行政へデマンドバスの利便性を高めるための働きかけ |
| ・介護が必要になったときの老後が心配 | <ul style="list-style-type: none"> ・クローカー等で健康づくり ・認知症の講習会に参加 ・地域と施設の交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・隣近所での日々の見守り ・地域での見守り体制づくり ・民生児童委員や関係機関への連絡 |
| ・ゴミの分別ができない方もいる | <ul style="list-style-type: none"> ・回覧等で分別の呼びかけ ・地域で分別の張り紙作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋への記名の呼びかけ ・監視カメラの設置（ダミー可） |
| ・婦人会の解散 | <p>（婦人会が担っていたことを）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブに依頼 ・役員の家族に依頼 | <ul style="list-style-type: none"> ・行事に若者の参加を呼びかける ・地域に存在する、気心の知れたグループに協力依頼 |
| ・危険な空き家があり、子どもたちの通学に危ない | <ul style="list-style-type: none"> ・地区の方の見守り ・危険箇所のチェック ・行政へ危険空家の報告 | <ul style="list-style-type: none"> ・危険な通学路を避けるため、通学路の変更を検討する |

社協からのコメント

田園風景や新興住宅地などを併せ持つ、7つの自治会からなる広い範囲の地域である。国道56号線や県道八幡浜線が通っているため比較的交通の便も良く、加えて新しい住宅も建設されており、人口は増加傾向にある。また、各自治会とも「生活・居住・自然環境等」に特色があり、地域面積が狭い地域では「隣近所との繋がりがあがる」と認識している反面、別の地域では、「住民同士の顔の見える関係性が、やむを得ず希薄である」とも理解されており、福祉、防犯、防災等の観点からも今後の課題と考える。

そのような中、中川地区を挙げての運動会やレクバレー大会、各自治会での草刈り作業等を通じた「顔の見える世代間交流」も行っている。また、一時衰退していた夏越祭も「壮年会」の活動が実を結び、近年再び盛り上がってきているという明るい話題も多く聞かれた。

今後、「人口が増加傾向にある」という強みを活かした地域力で、課題解決に向けた取り組みに期待している。

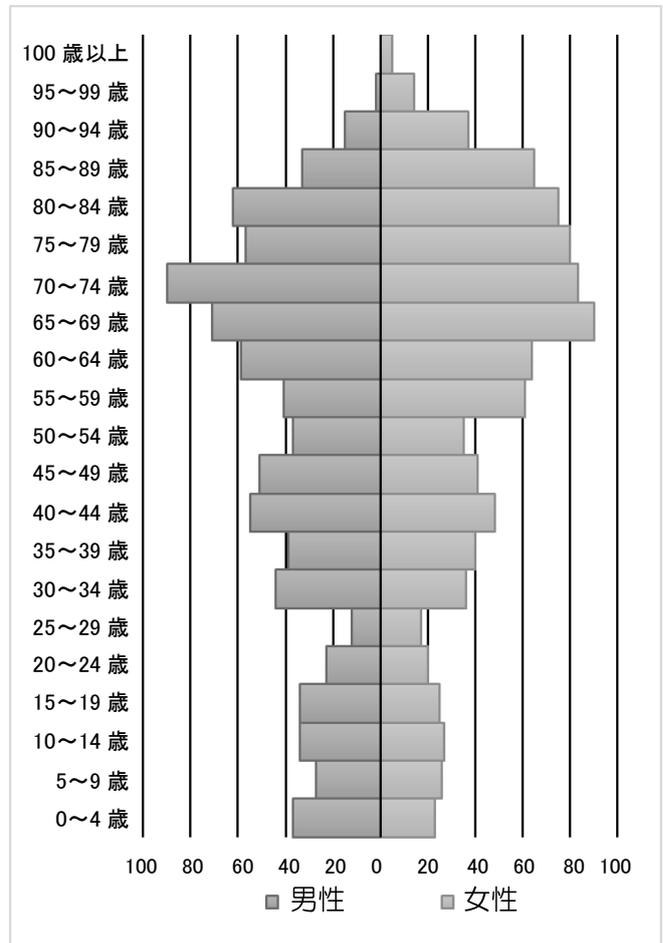
宇和町 石城地区

統計で見る地域の特性

| | |
|---------------------|-------|
| 人 口 | 1,735 |
| 世帯数 | 802 |
| (1 世帯当たりの人数) | 2.2 |
| 年少人口 | 174 |
| 生産年齢人口 | 782 |
| 老年人口 | 779 |
| (うち 75 歳以上人口) | 445 |
| 高齢化率(小数点第 2 位使四捨五入) | 44.9% |
| 自治会数 | 5 |
| サロン数 (高齢者) | 5 |
| 民生・児童委員数 | 6 |
| (1 人当たりの世帯数) | 133.7 |

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

人口ピラミッド



(平成 31 年 4 月 1 日現在)

石城地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・石城加工組合がある
- ・老人クラブが広報誌の小分け（配布）作業

【健康・医療】

- ・運動教室が、健康づくりに取り組む（クローケー、卓球、ヨガ、ノルディックウォーク等）
- ・食生活改善グループの活動が盛ん
- ・声かけ隊（認知症の見守り）の結成と勉強会

【地域活動・教育】

- ・れんげ祭り、ロマンの里の活動、祭り等芸能活動・文化を大切に受け継ぐ
- ・消防団、サロン、子どもの通学等、ボランティアの見守り活動がある

【防災・安全】

- ・各部落で自主防災活動を行っている
- ・山道作りで側溝等の掃除を実施

【生活環境】

- ・広大な石城平野の景色がきれい
- ・盆地で災害が少ない
- ・美土里ネット、老人クラブ、地区で草刈り、花壇の整備、神社の清掃の環境整備を行う
- ・ツル・コウノトリが飛来

【その他】

- ・顔見知りで声かけがしやすい地域
- ・高齢者の手伝い（草刈り等）をしている

石城地区の課題

| | |
|---|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の人手・後継者不足 ・若者が働く職場がない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりの成人、家から出られない高齢者が心配 ・将来、認知症や病気になった時、車に乗れなくなった時が心配 <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区役員のなり手がない ・日赤奉仕団の解散、婦人会、老人会等がない ・自治会活動のできない人がいる | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災が個人情報の問題で活動しにくい ・空き家が増えている ・放置林が多く、大雨の時濁流となる ・災害のあった地域で今後雨が降ると心配 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の付き合いが薄れてくる ・高齢者の車の運転が心配だが、生活に必要な ・近くにバス停、買い物できる店がない ・ごみ屋敷に近い家や、ごみ出しの決まりの分からない人がある |
|---|--|

これからの石城地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|------------------|--|---|
| ・災害等への備え | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災で訓練（集会所で避難所運営や炊き出し） ・避難計画、災害時要援護者の台帳の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・AEDの設置 ・防災士を中心に継続的に防災計画に携わるリーダーの育成 |
| ・地域活動の担い手不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担の見直し ・区長文書の仕分け等 ・小原…仕分け組織が良い | <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担必要 ・仕事と両立できる体制づくり |
| ・交通が不便 | <ul style="list-style-type: none"> ・魚屋の行商 ・個人商店での購入 ・コンビニ利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・あい笑のお弁当、宅配等、民間の宅配サービス利用 ・今後宅配等のサービス利用が必要 |
| ・近所づきあいが希薄になっている | <ul style="list-style-type: none"> ・サロン（年5回）楽しみにされている。集まって話すだけでも良い ・ボランティアも交流になる | <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの育成（地域の中で介護や医療に携わる人） ・日々の近所づきあいを基本に ⇒助け合い・見守り |

社協からのコメント

活発に意見が出されたのは、地域活動・教育について。伝統行事やお祭りを受け継いでいくとともに、消防団による見守り、サロンの運営やボランティアの協力、認知症見守りボランティアである声かけ隊、子どもの通学の見守りなど地域の団体が協力して、見守り活動を行っている。近所づきあいの希薄化が課題に挙げたが、サロン等の集まり等で顔を合わせる機会を持ち、ボランティアとして参加している若い世代にも交流が生まれ、次世代の地域活動の担い手の育成に繋がっている。石城地区は、5つの行政区からなるが、行政区ごとに取り組みの状況も違っている。他の区の良い取り組みについては、情報共有し、地域づくりに活かすことができると感じた。

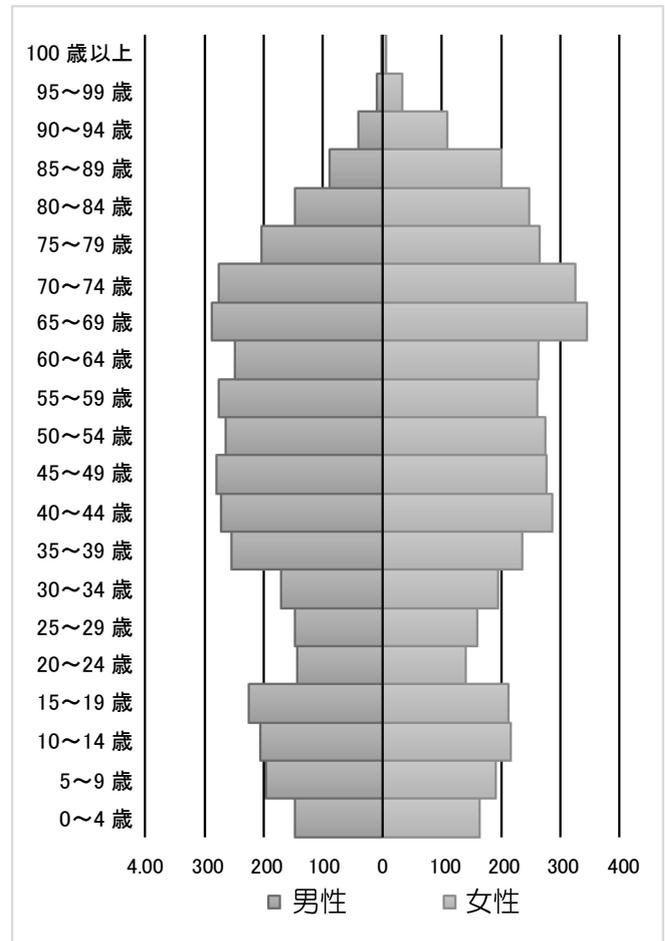
宇和町 宇和地区

統計で見る地域の特性

| | |
|------------------|-------|
| 人口 | 8,292 |
| 世帯数 | 3,838 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.2 |
| 年少人口 | 1,121 |
| 生産年齢人口 | 4,503 |
| 老年人口 | 2,588 |
| (うち75歳以上人口) | 1,355 |
| 高齢化率(小数点第2位四捨五入) | 31.2% |
| 自治会数 | 48 |
| サロン数(高齢者) | 14 |
| 民生・児童委員数 | 23 |
| (1人当たりの世帯数) | 166.9 |

※ 特別養護老人ホーム(松葉寮・開明の杜)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

宇和地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- 商店街活動

【健康・医療】

- 高齢者の健康づくり(健康体操・クローケー・グランドゴルフ)
- 体育館や運動公園でスポーツを実施
- 病院が多く医療が充実している

【地域活動・教育】

- 毎月1回、サロンで交流している
- 粗大ゴミ等、高齢者や弱者のため、申し込みを受けて、区で手伝いをしている
- 地域づくり協議会の予算配分があり、各地区でイベントが実施されている

【防災・安全】

- 防災訓練、防災講習
- 消防団による地域内の点検整備

【生活環境】

- 高速のインターが近い
- 重要伝統的建造物群保存地区に選定された素晴らしいところが存在する
- 静かで、のんびりした生活が出来ている
- 年間を通して、多くの花を見る機会が多い
- 高齢者の福祉施設が多い

【その他】

- クリーン運動の折々、住民が各々協働作業をしている

宇和地区の課題

| | |
|--|---|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型店の増で、地元商店の減 ・飲み屋以外のご飯屋が少ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西予市民病院が遠い <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の世話役（役員）の成り手がいない ・何の活動も同じメンバー ・無関心な人が多い ・団地なので、中のつながりがほとんど無い ・子どもが少なくなり、活気が無くなってきた ・人口減少に悩む地域あり | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼間、若い人がいない（防災） <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉バスが近くを通らずに、買い物等が不便な地域がある ・病院に行くのに、公共交通機関を利用できない人がいる <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者の孤独死 ・デイサービスやサロンに行かれず、行き場の無い人 ・独居高齢者など、粗大ゴミ等出すのが大変 |
|--|---|

これからの宇和地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|-----------------------------|--|--|
| ・独居高齢者の孤独死 | <ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員の見守り ・友愛会の活動 ・ふれあい郵便（婦人会） | <ul style="list-style-type: none"> ・訪問班・見守り班等を地域で組織し、地域全体で見守る |
| ・デイサービスやサロンに行けず行き場の無い人 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい郵便（婦人会） | <ul style="list-style-type: none"> ・手紙を出す（子どもからなど） ・見守り隊を組織する ・おしかけサロン ・空き家の活用 |
| ・生活福祉バスが近くを通らず買い物等に不便な地域がある | <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売の利用 ・生協の利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動による支援 |
| ・団地など、中のつながりがほとんど無い地域がある | <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントの実施（地域のつながりの無い方へのコミュニケーションツールとして） | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントに参加してもらえよう積極的に声掛けを行う ・広報などを届ける際、声掛けを行ってコミュニケーションを図る |

社協からのコメント

西予市の中心地で人口が多く、高齢化率も市内では比較的低い地域である。病院など医療機関が多く大型商業施設もあり、JRの駅や高速のインターがあるなど生活の利便性が良い地域でもある。しかし、転入者が多いなど地域の繋がり希薄化が進んでおり、また、他の地域に比べるとゆるやかであるが少子高齢化及び核家族化の進行により様々な諸問題も発生してきている。婦人会や老人クラブ、壮年会、愛護班など地域活動が盛んな地域であり、また、サロンや健康づくりの会など地域で『集い』の活動は活発的に行われている。各団体の活動などを通して地域の繋がりを深め、課題の解決を図って頂きたい。

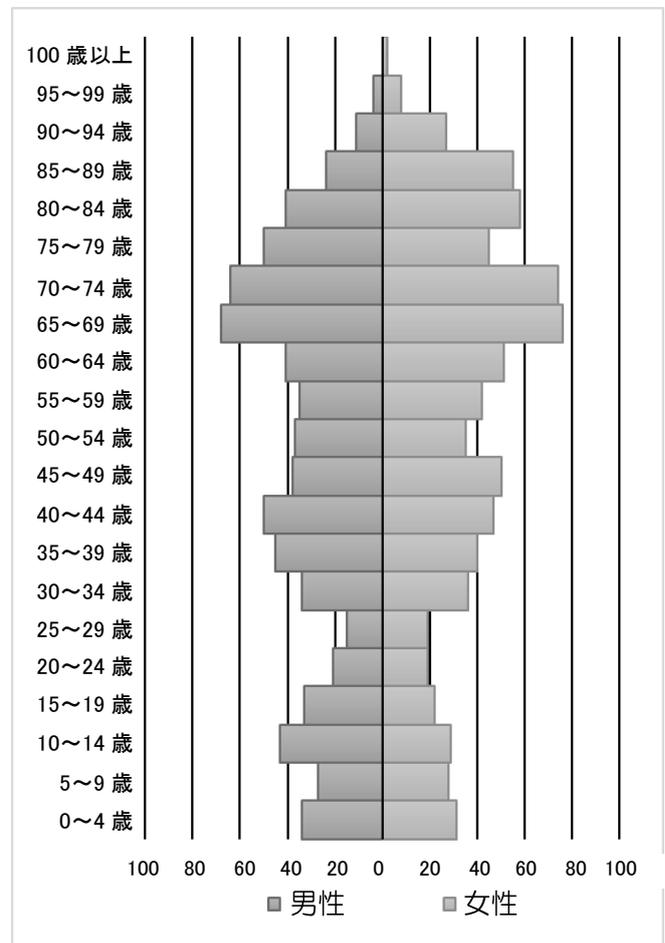
宇和町 田之筋地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 1,509 |
| 世帯数 | 670 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.3 |
| 年少人口 | 192 |
| 生産年齢人口 | 710 |
| 老年人口 | 607 |
| (うち75歳以上人口) | 325 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 40.2% |
| 自治会数 | 7 |
| サロン数(高齢者) | 5 |
| 民生・児童委員数 | 4 |
| (1人当たりの世帯数) | 167.5 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

田之筋地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・米作り等、高齢者ではできなくなったところを次世代の若い方が請け負い、おかげで休耕田がない
- ・農業の仕事はたくさんある

【健康・医療】

- ・ヨガ体操や健康体操が活発

【地域活動・教育】

- ・地域の行事等に各団体等の参加協力がなされている
- ・いきいきサロン活動が活発

【防災・安全】

- ・地区防災活動をしている
- ・治安が良い
- ・児童見守りができている

【生活環境】

- ・水がきれい
- ・移動販売が来る

【その他】

- ・葬儀の際の助け合い
- ・おすそ分けの習慣がある
- ・水源に近いので米がうまい

田之筋地区の課題

| | |
|--|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仕事はたくさんあるが、高齢化のため動ける（働ける）人が少ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 医療にかかりたくても経済的に難しい <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> • いきいきサロンへの加入者が少ない • 老人会への入会者が少ない | <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 若い人が少ないため活気がない • 交通手段が乏しい • 高齢者世帯が多い • 子どもが少ない • 環境保全が難しくなる |
|--|--|

これからの田之筋地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|---------------------|---------------------|--------------------------------|
| • 医療にかかりたくても経済的に難しい | | • 隣近所で自家用車乗り合い（個人間において） |
| • 交通手段が乏しい | • 車での乗り合わせ | • 近隣でボランティアができる仕組みを作る |
| • 若い人が少ないため活気がない | • 地区盆踊り • 地区民運動会 | • 世代間交流 |
| • 老人会への入会者が少ない | | • 加入促進 • 敬老会（地域行事）への参加を機に勧誘 |
| • いきいきサロンへの入会者が少ない | | • 加入促進 |

社協からのコメント

昔ながらのご近所さん同士の助け合いやおすそ分けの習慣があり、治安が良く、安心して暮らせる。水がきれいなため、お米がおいしい。高齢者ではできなくなったところを若者が請け負い休耕田がなく、地域での助け合い体制ができている。盆踊り、地区民運動会など地域の行事には、各種団体等の参加協力がなされており、敬老会、ふるさと芸能文化祭と共に4大行事として位置づけられ、毎年行われている。また、いきいきサロン活動やヨガ体操も活発に実施され、健康作りに余念がない。その一方で、若い人が少ないため活気を失い、地区全体が衰退している状況は否めない。若者の地域離れに拍車がかかり、高齢化を進める要因にもなっている様子がうかがえる。交通手段が乏しいという課題も上がってきているが、隣近所での自家用車乗り合いなど今後も高齢者にとって住みやすく生活に不便を感じさせない地域づくりの取り組みに期待している。

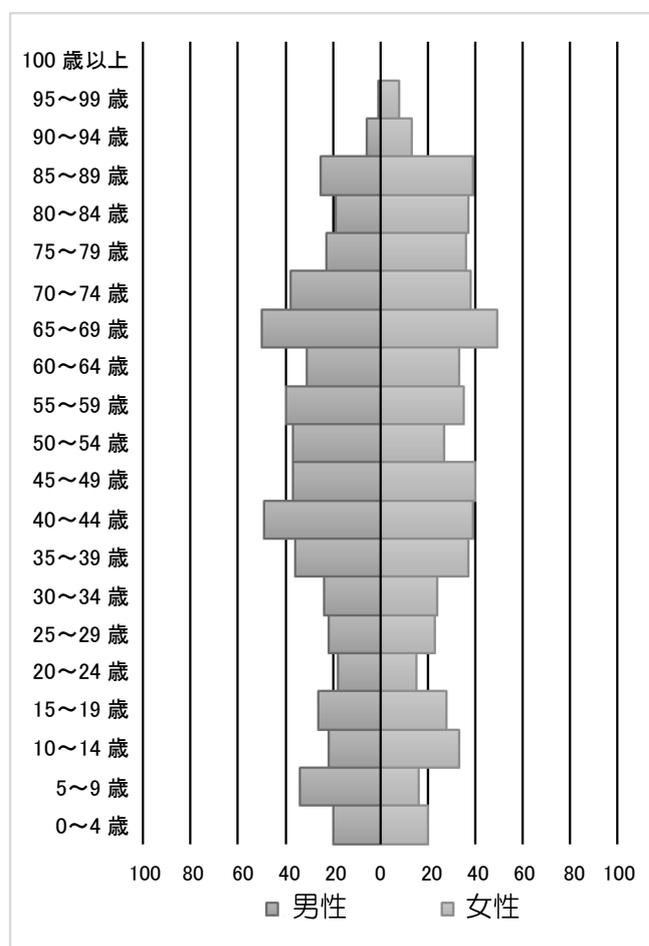
宇和町 下宇和地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 1,148 |
| 世帯数 | 509 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.3 |
| 年少人口 | 145 |
| 生産年齢人口 | 621 |
| 老年人口 | 382 |
| (うち75歳以上人口) | 207 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 33.3% |
| 自治会数 | 3 |
| サロン数(高齢者) | 1 |
| 民生・児童委員数 | 3 |
| (1人当たりの世帯数) | 169.7 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

下宇和地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・ぶどう作りが盛ん

【健康・医療】

- ・医療機関が比較的近い
- ・健康講座に講師を呼んで、講話をして頂いている

【地域活動・教育】

- ・婦人会による、ホウ酸団子作り
- ・講中[※]の助け合い
- ・五つ鹿踊りを行っている
- ・高齢者の買い物の手伝い
- ・婦人会や民生児童委員が弁当の配食を行っている

【防災・安全】

- ・災害時、高齢者の安否確認をできるようになっている
- ・毎年、防災訓練を行っている
- ・青パト隊による見回り

【生活環境】

- ・インフラ、ライフラインの整備がよい
- ・高速の入り口が近い
- ・道づくり活動への参加

【その他】

- ・子どもたちが元気
- ・地域の住人が声をかけ合って協力している

※ 講中…村落社会における葬儀執行のための近隣組織

下宇和地区の課題

| | |
|--|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の高齢化と後継者不足 ・耕作放棄地が増加している ・お店が少ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区で行われている、集団検診の受診者が年々減っている <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブに加入する方がいない ・役員のなり手がいない ・地域行事の参加者の固定化 ・子どもが少なくなり、伝統行事が消えていく | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険家屋（空家）がある ・避難所が遠い ・急傾斜地など危険個所が多い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のゴミ出しが難しい ・荒れた墓地が増えている <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢化が進んでいる ・高齢者の連絡不要が多い ・子どもが少なくなり、今後を思うと大変に思う |
|--|--|

これからの下宇和地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|----------------------|--|---------------------------------------|
| ・高齢者のゴミ出しが難しい | ・見かけた時や、気づいた時には手伝っている | ・まずは家族が手伝う ・頼まれた時や、見かけた時にはこれからも手伝う |
| ・避難所が遠い | ・発災時、集会所を一次避難所、公民館を二次避難所 ・避難が困難な方に対しての担当を部落ごとに決めている | ・近所の助け合いを強化する |
| ・子どもが少なくなり伝統行事が消えていく | ・行事の回数を減らして対応している | ・老人クラブが手助け |
| ・老人クラブに加入する方がいない | | ・名称の変更を検討する ・趣味の会をまき込みたい |
| ・耕作放棄地が増えている | ・年に2回の道作り（草刈り） ・耕作放棄地の利用（青パパイヤづくり） | ・耕作放棄地を借入 ・青パパイヤ栽培 |

社協からのコメント

生活環境では、高速の入り口や医療機関が近くにある点や、インフラ・ライフラインの整備が良いところから暮らしやすい地域である。地域の住民同士では講中[※]や、高齢者の買い物の手伝いを協力して行っている。また、災害時にも近くに住んでいる高齢者の安否確認をするなど、住民間の助け合いの関係性が築かれている。一方で、農家の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加や、少子化による伝統行事の消滅などが課題となっている。今後、地域で行っていくことを考えたが、住みやすい地域性や住民間で行っている助け合いの力をより深め、活用することが課題解決に繋がると感じた。

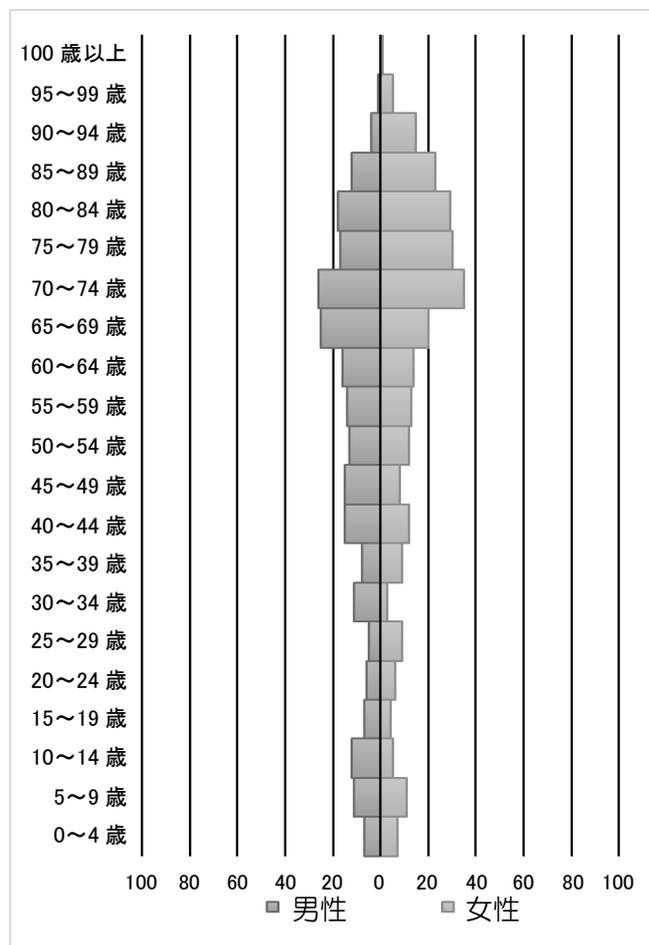
宇和町 明間地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 514 |
| 世帯数 | 253 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.0 |
| 年少人口 | 53 |
| 生産年齢人口 | 200 |
| 老年人口 | 261 |
| (うち75歳以上人口) | 155 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 50.8% |
| 自治会数 | 1 |
| サロン数(高齢者) | 4 |
| 民生・児童委員数 | 3 |
| (1人当たりの世帯数) | 84.3 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

明間地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・自営業が多い
- ・地域の商店がある
- ・事業系に関しては明間にないものはないといわれている。伝手もある

【健康・医療】

- ・健康体操・ヨガ教室
- ・ミュージックケア
- ・サロン活動

【地域活動・教育】

- ・伝統行事やお祭りが継承されている
- ・クローケーをはじめとする地域活動が活発
- ・地縁団体やNPOが活動している

【防災・安全】

- ・自助・共助ができています
- ・消防団が活発
- ・女性防火クラブがある

【生活環境】

- ・観音水、バラ園、桜と環境・自然に恵まれている
- ・温泉施設がある
- ・路線バスがある

【その他】

- ・まとまりがある(チームワークが良い)

明間地区の課題

| | |
|--|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足 ・(明間) 出身者が帰るきっかけがない ・雇用が少ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検診率・受診率(が低い) ・独居・高齢者世帯(が多い) <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人の人が複数の役を受けている ・役員の高齢化と若年化の両方へ向かっている ・セカンドライフ=地域の役になっている ・行事に参加する人が決まっている | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・う回路が少ない(孤立する) ・仮設住宅再利用 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物難民が多い ・免許が無いと不便 ・バスの便が少ない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が少ない ・独身が多い ・子どもが少ない |
|--|--|

これからの明間地区を考える

| 課題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・独居・高齢世帯が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・給食サービス ・福祉の里基金を利用して婦人会・老人クラブが各戸訪問 | <ul style="list-style-type: none"> ・サロン活動での配食サービス ・独居・高齢世帯へ生活情報はまとめて発信していく |
| <ul style="list-style-type: none"> ・買物難民が多い ・免許が無いと不便 | <ul style="list-style-type: none"> ・タクシーチケット配布 ・福祉バス ・デマンドタクシー | <ul style="list-style-type: none"> ・(買物に行くのではなく) 移動販売が来やすい場所に集いの場をつくる(情報発信の場) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・う回路が少ない(災害時に孤立する) | <ul style="list-style-type: none"> ・区・組・班単位で具体的な避難対応の取組をはじめた ・水・食糧の備蓄をしている | <ul style="list-style-type: none"> ・声かけ隊のような取組を広げていく(見守りではなく声かけあう) |

社協からのコメント

平成30年7月豪雨災害では大きな被害があった地区であり、避難指示により、多くの住民が応急仮設やみなし仮設に身を寄せている現状があるなか、顔の見える範囲で災害時に対応できる自助・互助の力を高めるための「声かけ隊」という取組を開始している。

自他共に認める地域のつながりの強い地区であるが、人口の減少や少子高齢問題が多く地域課題に影響している。

「免許が無いと生活を送るのに不便で買物難民が多い。」という地域課題の対応策として高齢者へのタクシーチケット配布等の取組をして来たが、今回の座談会では「行く」から「呼ぶ」へと発想転換をし「移動販売が来やすい場所に集いの場をつくらう。」と地域でできることを模索していた。

「強みである地域のつながりと柔軟な発想で地域課題を乗り越える。」そういった明間地区のさらなる取組に期待したい。

■ 野村地区

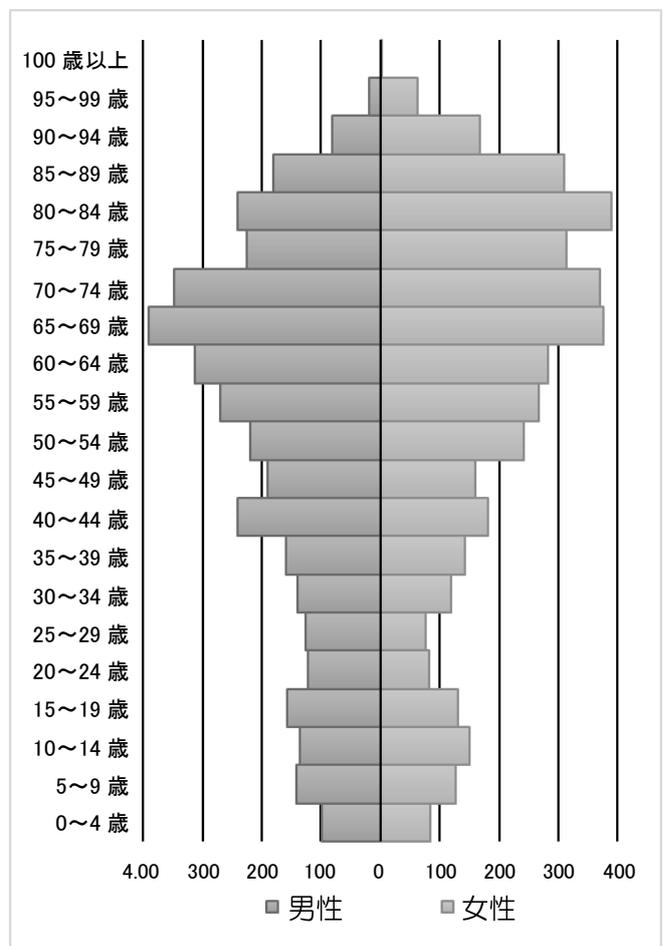
統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 7,837 |
| 世帯数 | 3,684 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.1 |
| 年少人口 | 734 |
| 生産年齢人口 | 3,622 |
| 老年人口 | 3,481 |
| (うち75歳以上人口) | 1,997 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 44.4% |
| 要支援認定者数 | 164 |
| 要介護認定者数 | 549 |
| 自治会数 | 131 |
| サロン数(高齢者) | 56 |
| 民生・児童委員数 | 40 |
| (1人当たりの世帯数) | 92.1 |

※ 特別養護老人ホーム(法正園・しいのき園)の人口は除く

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

「地域福祉の将来像を考える住民座談会」

(野村・溪筋・中筋・大和田・横林)

| | | |
|-----|------------------|------------------|
| 開催日 | 1回目 令和元年6月18日(火) | 2回目 令和元年6月18日(火) |
| 会場 | 野村保健福祉センター ホール | |

※KJ方式によるグループ討議

(惣川・大野ヶ原)

| 地区 | 日程 | 会場 |
|--------|---------------------------|-------------|
| 惣川地区 | 令和元年10月30日(水) 19:00~20:30 | 惣川公民館 2階ホール |
| 大野ヶ原地区 | 令和元年10月30日(水) 13:30~15:30 | 大野ヶ原地区集会所 |

※惣川地区、大野ヶ原地区は1回で意見交換会方式により開催

野村町 野村地区

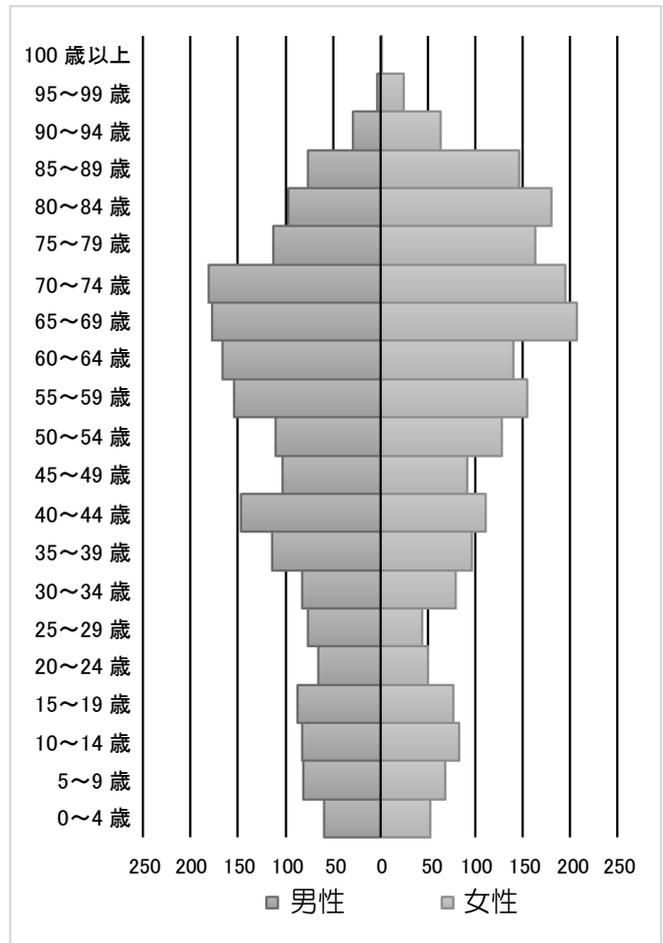
統計で見る地域の特性

| | |
|------------------|-------|
| 人口 | 4,164 |
| 世帯数 | 2,023 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.0 |
| 年少人口 | 427 |
| 生産年齢人口 | 2,077 |
| 老年人口 | 1,660 |
| (うち75歳以上人口) | 900 |
| 高齢化率(小数点第2位四捨五入) | 39.9% |
| 自治会数 | 36 |
| サロン数(高齢者) | 25 |
| 民生・児童委員数 | 11 |
| (1人当たりの世帯数) | 183.9 |

特別養護老人ホーム(法正園・しいのき園)の人口は除く

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

野村地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・商工会活動が愛媛県No.1(軽トラ市等盛ん)
- ・口こみでパートが見つかることがある

【健康・医療】

- ・各地区でのスポーツ大会、スポーツクラブ、公民館等での健康教室がある
- ・ジョギング、ノルディックウォークに適した環境

【地域活動・教育】

- ・地元の行事に帰省し参加してくれる
- ・いきいきサロンで食事会、体操、外出等実施
- ・見守りネットワークができています
- ・若い人がゴミ出しを手伝う
- ・常会や訪問で見守り(区が細かく顔が見える)

【防災・安全】

- ・法正園や各地区で防災訓練を行う
- ・不審者等の情報をすぐに地域で共有できる
- ・家を空ける時に連絡がある

【生活環境】

- ・近所に知り合いが多く、声をかけるとすぐに困りごとが解決する、助け合いがある
- ・山、川があり自然環境が良く、夜空がきれいで、水が美味しい
- ・光回線が各家庭に入っている

【その他】

- ・野村へのリピーターが増加中
- ・人の(良い)噂がすぐに伝わる
- ・若い衆にやる気がある

野村地区の課題

| | |
|--|---|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足で農業弱体化のため荒れた田畑が増加（耕作放棄地） ・商店街の後継者が少なく、空き店舗が多い <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保年金が将来不安 ・専門医（眼科・小児科）がない ・災害の心のダメージで離職する人もいる <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の会合で女性の参加が少ない ・少子高齢化により役員のなり手不足 ・つなぎ手である60代の参加が難しい（現役） | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通行止めがなかなか復旧しない ・災害時に避難所がない ・高齢者の運転が危ないが、車がないと困る <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が弱い ・空き家がある <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が都会に出て人口が減る ・結婚しない独身者が多い ・ボランティアが当たり前 ・子どもが少なく、好きな運動が地元でできない |
|--|---|

これからの野村地区を考える

| 課題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が都会に出て人口が減り、結婚しない独身者が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・地元行事に参加する ・飲み会が多い ・人の良い噂がすぐに伝わる | <ul style="list-style-type: none"> ・世話役する人が居れば良い ・イベント活動があれば良い |
| <ul style="list-style-type: none"> ・防災・安全について | <ul style="list-style-type: none"> ・防災の備品設置 ・防災訓練・防災キャンプ ・消防団活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域での訓練（指導者の派遣） ・災害時の集会所の活用（電源） ・防災マップ・各組で名簿作成 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が弱い | <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー、生活交通バス利用 ・近所の助け合い | <ul style="list-style-type: none"> ・個人での送迎は事故等の心配もあり、制度化が必要 ・移動販売車、移動診療車 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・産業の活性化について（宿泊施設がない、空き家等が多い） | <ul style="list-style-type: none"> ・民泊 ・ゲストハウスを検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時、集会所を活用 ・継続して収入を得る取組み |
| <ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足で農業弱体化のため荒れた耕作放棄地が増加 | <ul style="list-style-type: none"> ・営農集団の取組み | |

社協からのコメント

地元の行事に帰省し、参加している若者も多く、乙亥大相撲では、伝統文化を未来の子どもたちへと繋いでいく郷土愛が育まれている。また朝霧湖マラソン等のイベントに、商工会・地域団体・NPOや住民が協力し、地域づくりを進めている。商店街は後継者不足等の課題があるが、朝霧湖マラソン等で訪れるリピーターも多いので、継続的な収入に繋がる取組みを検討されている。

「近所に声をかけると困りごとがすぐに解決する温かいまち」という意見が出て、ご近所づきあいが活発で地域コミュニティも充実していることがうかがえた。やる気のある若い世代が行事に参加し、世代を超えた住民の助け合いがあり、災害時等にも地域の繋がりが生かされていると感じた。

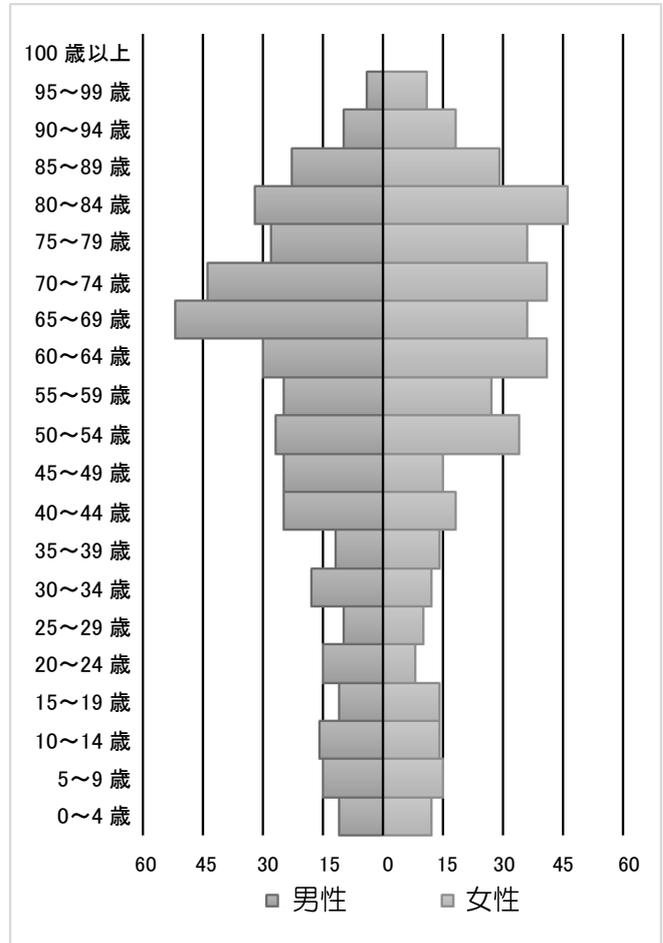
野村町 溪筋地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 884 |
| 世帯数 | 395 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.55 |
| 年少人口 | 83 |
| 生産年齢人口 | 391 |
| 老年人口 | 410 |
| (うち75歳以上人口) | 237 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 46.4% |
| 自治会数 | 21 |
| サロン数(高齢者) | 8 |
| 民生・児童委員数 | 6 |
| (1人当たりの世帯数) | 65.8 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

溪筋地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・建設業者3社、整備工場、電気サービスがある
- ・郵便局がある
- ・農家食堂、惣菜加工所がある

【健康・医療】

- ・体協、球技大会、卓球、剣舞、ヨガ、詩吟などがある
- ・ふれあい・いきいきサロンがある

【地域活動・教育】

- ・地域行事(敬老会、納涼祭、相撲、門松づくり、イルミネーション、カープ会こいのぼり)
- ・お祭り(川まつり、夏まつり、さくらまつり)
- ・見守り活動、移動販売がある

【防災・安全】

- ・自主防災組織があり防災訓練をしている
- ・消防団の団結力がある
- ・駐在所、警察官がいる

【生活環境】

- ・川の水がきれい、溪筋を美しくする日
- ・草刈り部隊がある
- ・国道441号 大洲が近い

【その他】

- ・地区の繋がりが強い
- ・人が熱い、元気
- ・おいしい野菜がある
- ・焼き鳥屋「鳥菊」がある

溪筋地区の課題

| | |
|---|---|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事が少ない ・農地が荒れる ・JAがなくなった ・給料が安い <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠い <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役職が多い ・少子高齢化で地域行事ができなくなっている | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害により一般道が通れなくなる ・消防団員の不足、日中地区に団員がいない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通手段が少ない ・道がせまい、坂道で車イスの生活困難 ・子どもが少ない、一人暮らしの高齢者が多い ・買い物できる店がない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、体育館が老朽化している ・子どもとの接点がない |
|---|---|

これからの溪筋地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|-----------------------|---|--------------------------------------|
| ・買い物できる店がない | ・移動販売（惣菜）がある（3件） | ・日用品の移動販売 ・販売で収入を得られるシステムづくり |
| ・少子高齢化で地域行事ができなくなっている | ・行事（例えば運動会）の規模内容の見直し ・2つの行事の同日開催（川まつり、盆踊り大会） | ・行事を一部の団体でやるのではなく皆が協力して行う |
| ・一人暮らしの高齢者が多い | ・敬老会の開催（弁当配布） ・移動販売 ・見守りネットワーク（社協） | ・ご近所単位での見守りシステム（誰が見守るか割り当てる） |
| ・子どもとの接点がない | ・クリスマス会、盆ファイヤー、川まつり、花火大会がある | ・様々な事業が継続できるような取り組み ・敬老会に子どもを招待する |
| ・農地が荒れる | ・農振部会で農作業単価設定 | ・各地区で若い士を組織して草刈り部隊を結成し、要請があれば請け負う |

社協からのコメント

| |
|--|
| <p>第1回目の座談会では、溪筋のいいところや社会資源をたくさん出していただいた。住民が自分たちの住む地域の素晴らしさを感じている様子がうかがえる。</p> <p>各種活動団体（グループ）、地域行事など人の集まる機会も多い地区である。</p> <p>課題として、少子高齢化に起因する様々な問題を出していただいたが、複数の行事を同日開催したり、見直しをするなどの工夫をして、地域のつながりを大事にされている。</p> <p>溪筋地区の良いところである、「地区の繋がりが強い」「人が熱い、元気」で世代をつないでいただきたい。</p> |
|--|

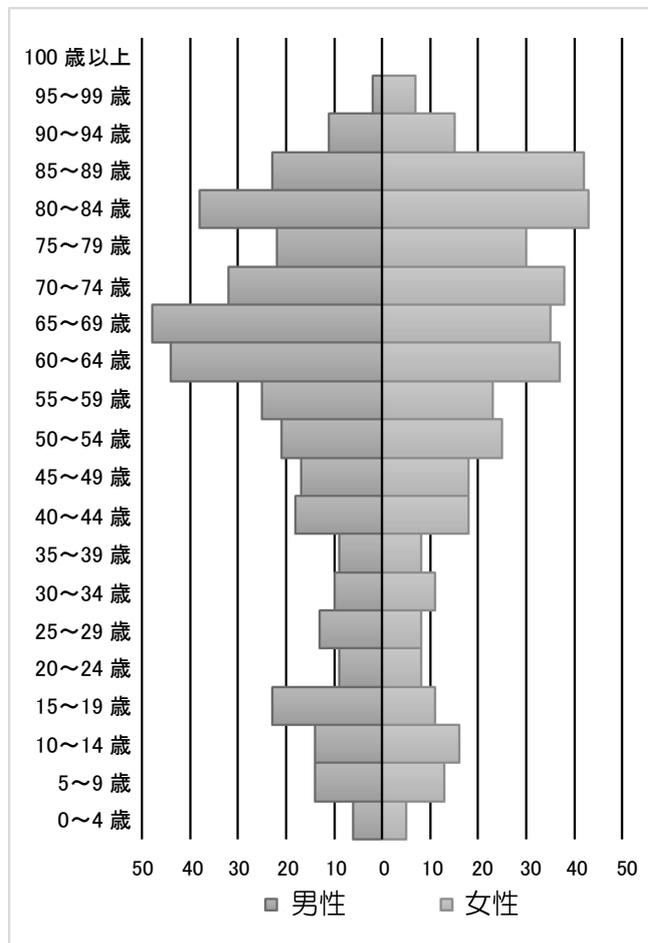
野村町 中筋地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 810 |
| 世帯数 | 363 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.2 |
| 年少人口 | 68 |
| 生産年齢人口 | 356 |
| 老年人口 | 386 |
| (うち75歳以上人口) | (233) |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 47.7% |
| 自治会数 | 21 |
| サロン数(高齢者) | 7 |
| 民生・児童委員数 | 6 |
| (1人当たりの世帯数) | 60.5 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

中筋地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・美味しい食べ物(名物)がたくさんある(手作りの蒟蒻、豆腐、味噌、おはぎ等)
- ・小門松を製品して販売している
- ・きゅうりの栽培が盛んなので、外部の栽培農家に向けた研修をしている

【健康・医療】

- ・健康体操、ヨガ教室
- ・クローカーで楽しみながら健康づくり

【地域活動・教育】

- ・地域ごとに「秋祭り」がある
- ・伝統的な「泉貨紙」がある
- ・世界一の大門松を建てている

【防災・安全】

- ・自主防災組織があり、災害時の備蓄もある
- ・防災教室の開催(防災頭巾づくり等)
- ・独居高齢者への訪問活動
- ・子どもたちの登下校の見守り活動

【生活環境】

- ・虫がたくさんいる
- ・県道の清掃活動
- ・「せせらぎ公園」を、地域で草刈り等の管理をしながら守っている
- ・花植え等の「花いっぱい運動」

【その他】

- ・料理上手な方が多い

中筋地区の課題

| | |
|--|---|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業等の担い手不足 ・耕作放棄地がある ・若い人の働く場所がない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中筋地区の高齢化率が高い ・近くに診療所がほしい <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの人手不足、青年団の復活 ・小学校の統合により、子どもの声が聞けなくなり寂しい | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織があるが機能していない ・空き家が多い ・高齢者の運転が危ない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・喫茶店、飲み屋等の集まれる場所がほしい ・今、欲しい物の買い物ができない ・JA中筋支店が無くなった <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お嫁さん不足 |
|--|---|

これからの中筋地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|------------------|--|--|
| ・自主防災組織 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、避難訓練を計画中 ・災害時の備蓄がある ・女性防火クラブがある | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（要配慮者）の確認 ・要配慮者の支援体制づくり |
| ・交通の便が悪い | | <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通バスの運用見直しを行政に働きかける（バス停の増加 等） |
| ・子どもの声が聞けなくなった | <ul style="list-style-type: none"> ・地区運動会、グランドゴルフ大会、クリスマス会等の開催 ・愛護班、通学合宿、相撲練習 ・公民館の開放 | <ul style="list-style-type: none"> ・野村全域から子ども達が集まるようなイベントの開催 ・中筋地区でしかできない体験事業の開催 |
| ・お祭りの人手不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・「浦安の舞」の継承者がいる ・地元以外の地区との、牛鬼担ぎ手の交流や高校生の応援 | <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの時には、地元出身者が帰省して手伝ってもらおう仕組みづくり |
| ・今、欲しい物の買い物ができない | <ul style="list-style-type: none"> ・JA委託店舗が、地元の方に引き継がれた ・JAのATMがある | <ul style="list-style-type: none"> ・お金の引き出しが困難な人に、金融機関の渉外担当の存在を周知して活用してもらう |

社協からのコメント

「世界一の大門松」を地域一丸となって制作するまとまりのある地域である。独居高齢者への訪問活動や、子ども達の見守り活動も熱心に取り組んでおり、県道の清掃や花植え、「せせらぎ公園」の維持管理も住民主体で行っている。しかしながら、少子高齢化等の問題もあり、住民主体で出来ていた活動が年々困難になっているという側面もある。また、お祭りの人手不足解消のため、同じ悩みを抱える中筋地区以外の地区と協力し、お互いのお祭りで「牛鬼担ぎ手の交流」を実践するなど、創意工夫にて伝統行事の維持、継承に取り組んでいる。また、住民は「地区内の交通の便は、決して良い方ではない」と感じており、自身で移動手段のない高齢者等は、特に不便を感じているようである。しかし、普段から人と人との繋がりが深く、また様々なアイデアを生み出す地域力もあるので、課題解決へ向けたあたたかい地域づくりに期待している。

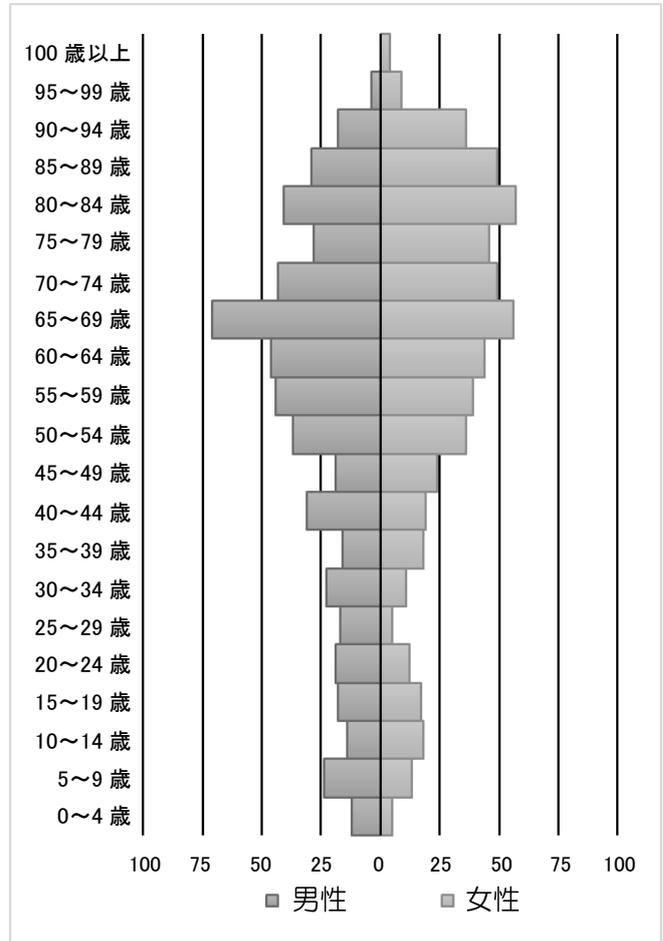
野村町 大和田地区

統計で見る地域の特性

| | |
|------------------|-------|
| 人口 | 1,121 |
| 世帯数 | 471 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.0 |
| 年少人口 | 86 |
| 生産年齢人口 | 495 |
| 老年人口 | 540 |
| (うち75歳以上人口) | 321 |
| 高齢化率(小数点第2位四捨五入) | 48.2% |
| 自治会数 | 17 |
| サロン数(高齢者) | 7 |
| 民生・児童委員数 | 6 |
| (1人当たりの世帯数) | 78.5 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

大和田地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・米がうまい
- ・田んぼが多い
- ・耕作放棄地に有志が作物を作っている

【健康・医療】

- ・体育館でバレーをしていた(週3回)
- ・クローカー・グラウンドゴルフをしている
- ・地区の球技大会がある

【地域活動・教育】

- ・愛護班は、ほぼ全世帯加入
- ・地域全員参加による芋炊き会をしている
- ・部落行事に老人クラブの参加者が多い

【防災・安全】

- ・防災マップ作成や防災訓練を始めた
- ・消防団がある
- ・不審者はすぐわかる

【生活環境】

- ・花や桜を植えている
- ・道作りには、地元出身者も帰省して参加する
- ・自然がいっぱい

【その他】

- ・年配者が楽しそうに暮らしている
- ・老人から農業についてのアドバイスをもらう
- ・無形文化財(花取り踊り他)がある

大和田地区の課題

| | |
|---|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無い ・仕事が無い ・水が少なく田植えが出来ない時がある <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院が遠い ・体育館が使えない <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の行事に若者の参加が少ない ・大和田地区の行事が災害の影響で出来ない | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時（昨年7月）高齢者に声をかけてもすぐに行動してもらえなかった ・防災に対する意識が低い ・地元消防団員が少ない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道が狭い ・水道が止まる <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫁がない ・少子・高齢化が進んでいる ・若い人が少ない |
|---|--|

これからの大和田地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること | 期間 |
|--------------------------|----------------------|--------------------------|------|
| ・防災意識 | ・防災マップ作成 ・防災訓練の実施 | ・防災訓練の実施 ・防災意識啓発（研修他） | |
| ・地域に店がない （買い物難民） | ・近所の人支援 | ・移動販売車の検討 ・アンケートの実施 | |
| ・若い人が少ない （消防隊員：お嫁さん他） | | ・同窓会の開催支援 （出会いの場として） | 1～2年 |

社協からのコメント

| |
|---|
| <p>昨年の豪雨災害の被害からの復興途中であり、防災意識を高めることが課題になっている。防災は、世代を超えて地域がつながるきっかけとなり、要援護者等の実態把握は、災害弱者への配慮の力になる。防災訓練・研修会等で住民同士が集まる機会のたびに、福祉の観点からの防災を考える事の重要性を、訴える必要があると思われる。</p> <p>神社大祭や芋炊き会等、地域全員参加のイベントが多世代交流の場になり、地域の絆を強くし、いざというときに備える地域づくりになっている。</p> <p>買い物支援や過疎化対策等、課題はたくさんあるが、「大きな和となり 想いを一つに 大和田！！」と表題の地域づくり計画書を核に、地域の皆さんが幸せに暮らせるような取り組みが、広がることを期待している。</p> |
|---|

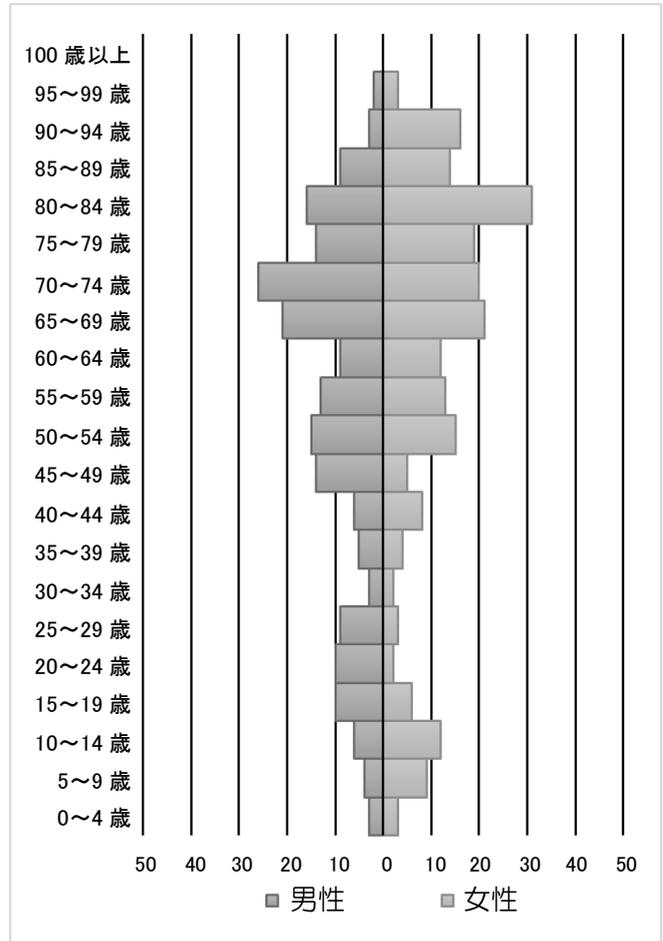
野村町 横林地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 416 |
| 世帯数 | 196 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.1 |
| 年少人口 | 37 |
| 生産年齢人口 | 164 |
| 老年人口 | 215 |
| (うち75歳以上人口) | 127 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 51.7% |
| 自治会数 | 10 |
| サロン数(高齢者) | 5 |
| 民生・児童委員数 | 4 |
| (1人当たりの世帯数) | 49 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

横林地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・ゆずや原木シイタケなど様々な野菜の栽培をしている
- ・ダム湖があるため、釣り人が来る

【健康・医療】

- ・地域や部落での役割がある
- ・家や農地を守る使命感
- ・サロン活動

【地域活動・教育】

- ・地域活動へ積極的に参加している
- ・高齢者が多いため、より気をつけ合っている
- ・顔の見える関係ができている

【防災・安全】

- ・自主防災組織がある
- ・米や野菜を家庭で作っているため、災害時に食料で困ることが少ない

【生活環境】

- ・新旧の橋の名所がある
- ・地区全体で環境整備を行っている
- ・荒れた土地や田畑の管理をしている

【その他】

- ・人情が厚く、協力的である
- ・近所のことを、互によく知っている
- ・乙亥大相撲の中心として活躍している

横林地区の課題

| | |
|--|---|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地がどんどん増えている ・水田が少ない ・お店が少ない ・害獣が多い <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて行ける集いの場が少ない ・病院が少ない <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りなどでの役員のなり手がいない ・役が多い | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害などの危険性が高い ・災害時に集落が孤立する ・空家が多い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落からの交通の便がよくない ・地区の保安全管理の人手不足、高齢化している ・独居の方の中には「1日誰も来ない」と言われる <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独身が多い |
|--|---|

これからの横林地区を考える

| 課題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|-------------------------------------|--|--|
| ・災害時の集落孤立 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップの作製(全戸配布) ・各集落に無線機の配置 ・避難訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップを活用した集落ごとの話し合いと避難訓練 ・地元重機の確保(オペレーターも含む) |
| ・地区の保安全管理の人手不足と高齢化による耕作放棄地の増加 | <ul style="list-style-type: none"> ・中山間制度の活用 ・農地水制度の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・横林お助け隊の設立(地域内外から) |
| ・集落からの交通の便が悪い(買い物弱者) | <ul style="list-style-type: none"> ・委託店の経営 ・移動販売(民間) ・近所の助け合い(乗り合わせ) | <ul style="list-style-type: none"> ・有償移送サービスの検討 |
| ・歩いて行ける集い場が少ないため、独居の方が1日誰とも会わない時がある | <ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフ ・サロン活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・見守り、声かけ運動を定期的に実施 |
| ・独身が多い | <ul style="list-style-type: none"> ・婚活イベントの開催 ・青年団活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・結婚推進活動の充実 ・農業体験を合わせた恋活イベント |

社協からのコメント

住民同士互いのことを良く知っているなどコミュニケーションを密に取られており、高齢者の多い所では地域で見守りを強化されているなど、地域の助け合いの力を大切にされている。また、地域行事の企画や住民の参加が活発であり、地区の保安全管理にも力を入れられている。一方で、買い物や通院の際の交通の不便さや、災害時に集落が孤立する危険がある、人口減少や高齢化による耕作放棄地の増加や人手不足が課題となっている。今後、地域でできることを考えていただいたが、住民間で顔の見える関係を築いている点や、活動への積極的参加されている点などの地域性を維持・強化することが、課題解決へのきっかけになると感じた。

野村町 惣川地区

日時 : 令和元年10月30日(水)
19:00~20:30

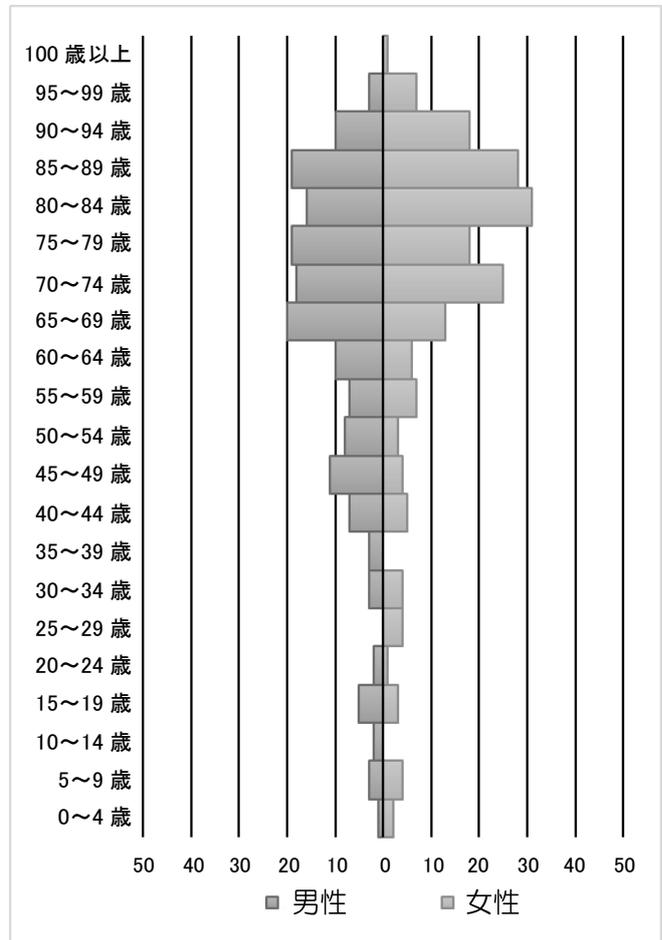
会場 : 惣川公民館 2階ホール

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 351 |
| 世帯数 | 209 |
| (1世帯当たりの人数) | 1.7 |
| 年少人口 | 12 |
| 生産年齢人口 | 93 |
| 老年人口 | 246 |
| (うち75歳以上人口) | 170 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 70.0% |
| 自治会数 | 24 |
| サロン数(高齢者) | 4 |
| 民生・児童委員数 | 6 |
| (1人当たりの世帯数) | 34.8 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

座談会の内容 ※ 意見交換会方式により開催

【地域でやっている事】

- 小学生、幼稚園児と高齢者センターとの交流事業
- サロン活動(清掃、しめ飾り、イルミネーション、活動後のお楽しみ)
- サロンの送迎を参加者同士で行っている
- 防災の活動として、球技大会と合わせて炊き出し訓練

【地域の課題】

- サロン活動の参加者が減っている
- 移動手段について(バス停までの移動が大変)
- 家族以外とのコミュニケーションが少ない

【その他の意見(要望等)】

- 高齢者等に関する情報収集をお願いしたい
- 惣川で暮らし続けたいが、息子さんの家(惣川外)に移住した高齢者がいる
- デイサービスの利用について、啓発を行って欲しい
- 平成30年西日本豪雨の際、惣川地区での被害について
- 災害の際、地理的に自宅待機となる方がいる
- 介護保険について住民が住みやすい、暮らしやすいものに
- 子どもの通学の問題。(距離とバス通学)
- 「給食サービスの集い」の対象者について

野村町 大野ヶ原地区

日時 : 令和元年10月30日(水)
13:30~15:30

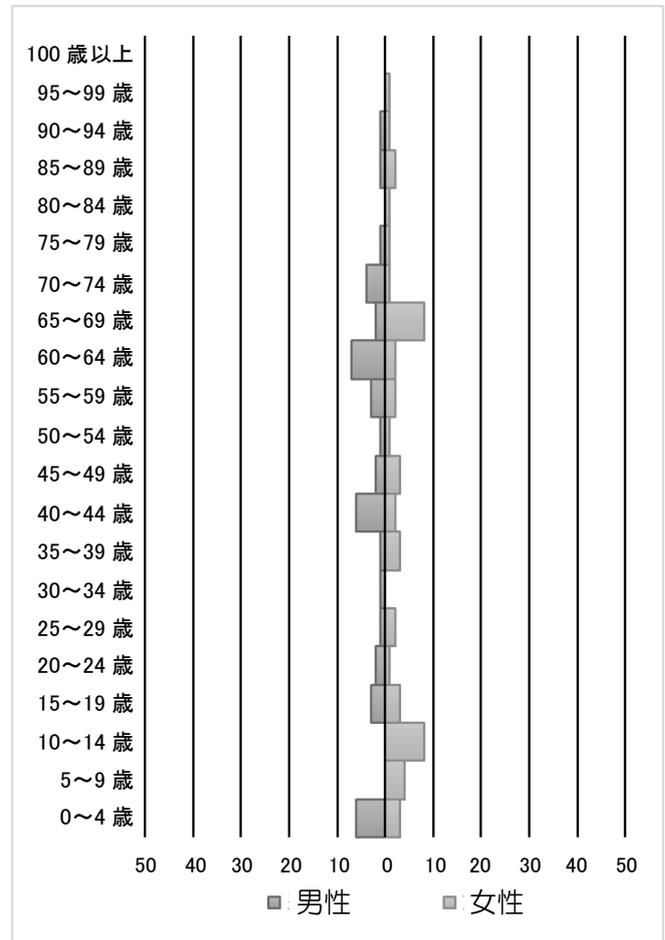
会場 : 大野ヶ原地区集会所

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 91 |
| 世帯数 | 27 |
| (1世帯当たりの人数) | 3.4 |
| 年少人口 | 21 |
| 生産年齢人口 | 46 |
| 老年人口 | 24 |
| (うち75歳以上人口) | 9 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 26.4% |
| 自治会数 | 2 |
| サロン数(高齢者) | 0 |
| 民生・児童委員数 | 1 |
| (1人当たりの世帯数) | 27 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

座談会の内容 ※ 意見交換会方式により開催

【地域で行いたい事】

- ・お年寄り子どもと一緒に過ごせる場所づくり(空き家を使った地域食堂など)
- ・お年寄りが子どもに昔の遊びを教える機会を
- ・地域で集まる場所が欲しい(サロンが無くなり、集まる事が少なくなった)

【その他の意見(要望等)】

- ・災害に関する不安などについて
 - 倒木などによる通行止め
 - 災害時(地震・大雪)の備蓄について
 - その他の不安(断水、家畜の世話、安全な避難場所、避難場所での入浴施設等)
- ・デマンドバスの運行を大野ヶ原まで

・防犯について

- 防犯に関する啓発を(防災無線の活用など)
- 防犯カメラの設置(行政と各家庭で)
- ・集団検診を大野ヶ原でも(昔は実施していた)
- ・高齢者施設の空き状況が解るサイトが欲しい



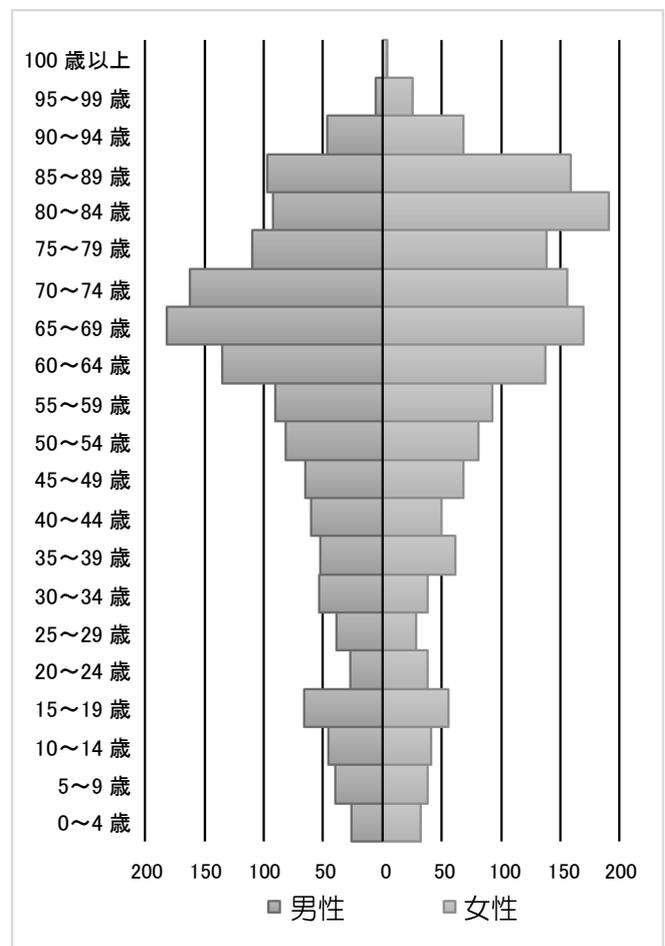
■ 城川地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 3,148 |
| 世帯数 | 1,475 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.1 |
| 年少人口 | 223 |
| 生産年齢人口 | 1,319 |
| 老年人口 | 1,606 |
| (うち75歳以上人口) | 937 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 51.0% |
| 要支援認定者数 | 117 |
| 要介護認定者数 | 269 |
| 自治会数 | 60 |
| サロン数(高齢者) | 11 |
| 民生・児童委員数 | 22 |
| (1人当たりの世帯数) | 67.0 |

※ 特別養護老人ホーム(寿楽苑)、養護老人ホーム(奥伊予荘)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

「地域福祉の将来像を考える住民座談会」

| | | |
|-----|--------------------|-------------------|
| 開催日 | 1回目 令和元年8月20日(火) | 2回目 令和元年10月29日(火) |
| 会場 | 総合センターしろかわ 2階 大会議室 | |



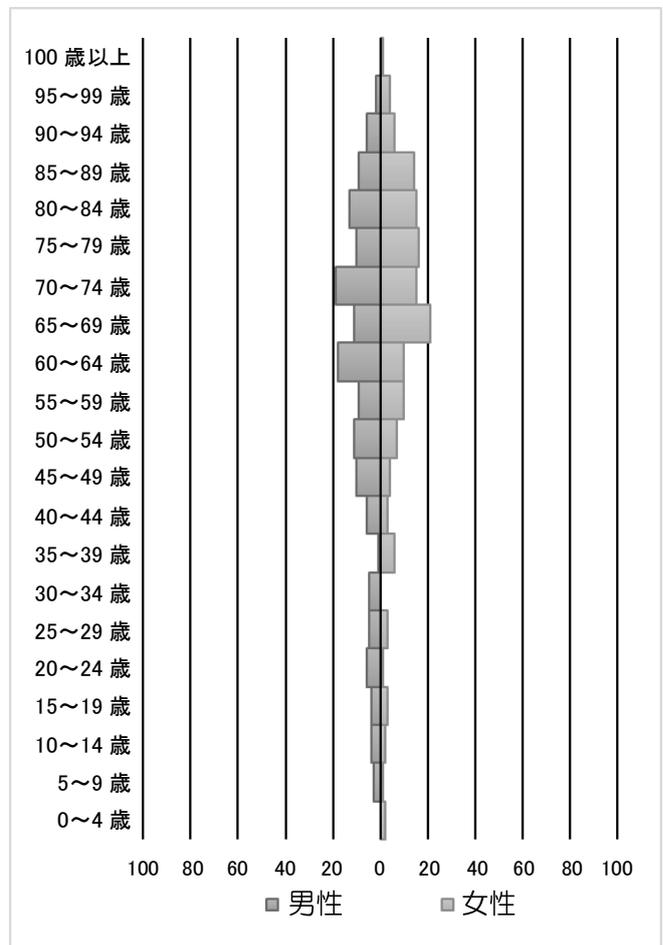
城川町 遊子川地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 296 |
| 世帯数 | 140 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.1 |
| 年少人口 | 12 |
| 生産年齢人口 | 122 |
| 老年人口 | 162 |
| (うち75歳以上人口) | 96 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 54.8% |
| 自治会数 | 11 |
| サロン数(高齢者) | 1 |
| 民生・児童委員数 | 3 |
| (1人当たりの世帯数) | 46.7 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

遊子川地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・トマトがおいしい
- ・企業組合「遊子川ザ・リコピンス」ができた
- ・特産品がたくさんできた
- ・農家レストラン「食堂ゆすかわ」

【健康・医療】

- ・健康体操教室
- ・グランドゴルフ「やまびこ大会」を実施

【地域活動・教育】

- ・七つ鹿踊り・施食会・ねんぶつ踊り
- ・子育て支援「ゆすかわっ子よりみちクラブ」
- ・木工施設「ユスモククラブ」
- ・三世代交流

【防災・安全】

- ・消防団活動がある
- ・女性防火クラブがある

【生活環境】

- ・自然が豊富（雨包山・あじさい・ホテル等）
- ・デマンドタクシーが活用できる
- ・地域住民らによる環境整備を行っている

【その他】

- ・地域住民のまとまりがあり協力的
- ・地域の方は顔見知りで声かけられる
- ・映画「ゆすかわ食堂」を作った

遊子川地区の課題

| | |
|---|---|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者問題 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は通院が大変 <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減による各種団体のかけもちがある ・役員、各種活動において一人ひとりに負担がかかりすぎる ・老人クラブに入会する人がない ・高齢化で集落の活動が難しくなっている | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に孤立する可能性が高い ・携帯が入らない場所がある ・ラジオが入らない <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々、草刈りがつらい ・雑草を取り除く事ができない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の移動（運搬）を頼める人がいない |
|---|---|

これからの遊子川地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること | 期間 |
|------------------------|--|--|-------|
| ・災害時に孤立する可能性が高い | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災活動 ・避難訓練 ・消防団、女性防火クラブ活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡先の把握 ・普段からの声掛け ・防災マップの見直し | 1年 |
| ・高齢者は通院が大変 | <ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシー | <ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの利用促進 | |
| ・各種団体・役員のかけもちがあり負担が大きい | <ul style="list-style-type: none"> ・会議の回数を減らす ・同日で会議を行う | <ul style="list-style-type: none"> ・組織の見直し | 1年～5年 |
| ・共同作業の負担が大きい | <ul style="list-style-type: none"> ・回数を減らしている ・作業内容の変更 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部に協力をお願いする | 1年～5年 |
| ・物の運搬が困難 | | <ul style="list-style-type: none"> ・業者に依頼 | |

社協からのコメント

地域宣伝のために制作された映画「食堂ゆすかわ」は、市内外の多くの方に鑑賞され話題を集めた。映画の中にも出てくる町内最高峰の「雨包山」やアジサイも有名。特産のトマトを活かしたりコピンス商品の販売や「食堂ゆすかわ」は農家レストランの立ち上げの基となった。木工施設「コスモクラブ」では木工に興味のある方たちが入会されている。

そのような活気にあふれている遊子川だが、山に囲まれた自然豊かな場所ゆえに災害時に孤立する可能性が高いと心配している声が聞かれる。また、高齢化が進み、通院が困難だったり集落の活動が難しくなりつつあるという課題もある。地域が一体となって取り組みを実践していくことが重要なことと思われる。

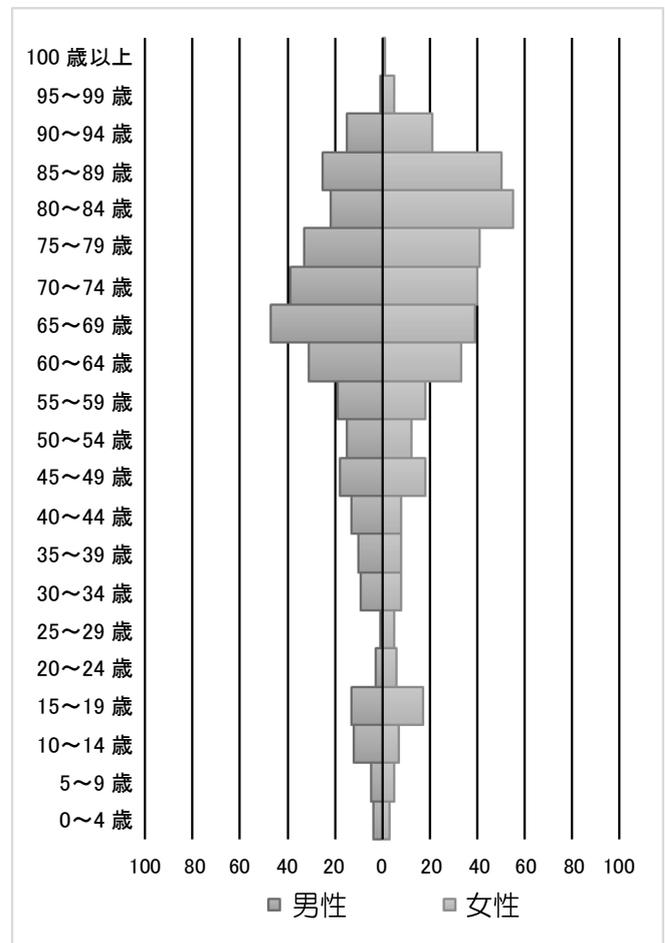
城川町 土居地区

統計で見る地域の特性

| | |
|------------------|-------|
| 人 口 | 735 |
| 世帯数 | 394 |
| (1世帯当たりの人数) | 1.9 |
| 年少人口 | 36 |
| 生産年齢人口 | 265 |
| 老年人口 | 434 |
| (うち75歳以上人口) | 269 |
| 高齢化率(小数点第2位四捨五入) | 59.0% |
| 自治会数 | 20 |
| サロン数(高齢者) | 3 |
| 民生・児童委員数 | 6 |
| (1人当たりの世帯数) | 65.7 |

※ 老人ホーム(奥伊予荘)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

土居地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・栗農家がたくさん
- ・柚子の生産が多い

【健康・医療】

- ・土居診療所がある
- ・奥伊予荘がある

【地域活動・教育】

- ・病弱者・高齢者からの依頼で、草刈り作業
- ・独居高齢者に対する地域の見守り
- ・雪が降った時、好意で除雪してもらう
- ・伝統行事(八つ鹿)の保存活動
- ・近くの子どものことがよく分かる(見守りなど)

【防災・安全】

- ・自主防災組織がある
- ・治安が良い

【生活環境】

- ・郵便局がある
- ・自然が豊かで、空気がきれい
- ・車の渋滞が無い

【その他】

- ・あいさつをしたら、あいさつしてもらえる
- ・子どもを可愛がってくれる
- ・女性がコミュニケーションが上手で元気
- ・年配の方が元気に畑や田んぼをしている

土居地区の課題

| | |
|--|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に働く場所がほとんどない ・繁忙期の人手不足 ・耕作地の維持管理が困難になってきている <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が急病になった場合の不安 ・独居高齢者の出不精 <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落内の役員の成り手が少ない ・高齢者のゴミ出し（特に粗大ゴミ）が課題 ・高齢者が日々の食糧品など、生活に必要な物資の確保が困難 | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の高齢者の避難が心配 ・家に鍵をかけない ・消防団のなり手不足 <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族（子ども）が遠くに住んでいる ・買い物、通院が不便 ・車、マイピア必需品 ・バスの便が少ない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多い ・将来、集落の維持が危ぶまれる |
|--|--|

これからの土居地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|--------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| ・災害時の高齢者の避難 | ・自主防災組織の活動 | ・防災マップ（災害弱者）の作成 ・安否確認と非難の呼び掛け |
| ・買い物、通院が不便 | ・買い物の乗り合わせ | ・買い物ツアー ・ネットなどを使った、買い物の代行 |
| ・高齢者の病気 | ・声掛け、見守り | ・日頃から、気軽に助け合える関係づくり ・地域での情報共有 |
| ・独居高齢者の生活の不安 | ・給食サービス（民生児童委員） ・孤食を防ぐ食事会（婦人会） | ・日頃から、気軽に助け合える関係づくり ・地域での情報共有 |
| ・高齢者のゴミ出し | ・高齢者の粗大ゴミの収集（ボランティアで） | ・粗大ゴミ回収のボランティア活動の継続 ・ゴミの分別のお手伝い |

社協からのコメント

自然が豊かで暮らしやすく、住民同士のコミュニケーションも活発に行われ、あいさつをしたり、草刈りや除雪、粗大ゴミの回収など地域で助け合える関係性を築くことが出来ている。また、伝統行事の保存活動など、地域活動も活発に行われているようである。一方、高齢化や人口減少により地域の役員の成り手不足や空き家が増えるなどの問題があり、また、一人暮らし高齢者の買い物や通院の不便さ、病気になった時や災害時の不安などの課題もある。しかし、住民同士の繋がりが強く、お互いに顔の見える関係が築かれていることから、今後もこのような関係性を維持して、課題の解決に向けて、より一層、地域での助け合い活動を活性化されるように期待したい。

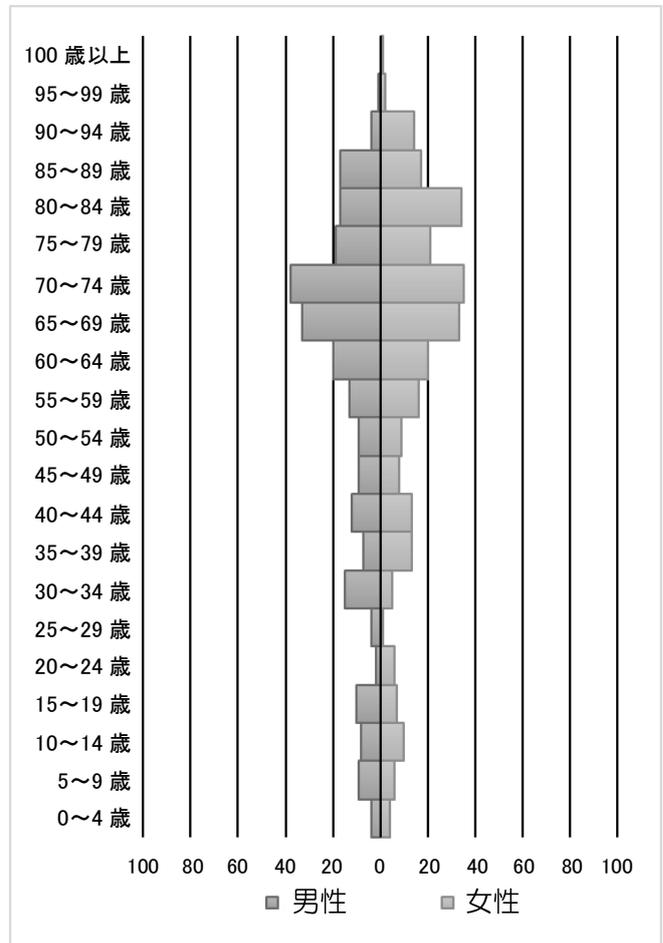
城川町 高川地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 526 |
| 世帯数 | 246 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.1 |
| 年少人口 | 41 |
| 生産年齢人口 | 199 |
| 老年人口 | 286 |
| (うち75歳以上人口) | 147 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 54.4% |
| 自治会数 | 11 |
| サロン数(高齢者) | 1 |
| 民生・児童委員数 | 3 |
| (1人当たりの世帯数) | 82.0 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

高川地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・木下牧場に若い人が従事されている
- ・城川ファクトリー・今村センター等仕事の受け皿がある

【健康・医療】

- ・レクバレーや体操教室等がある
- ・温浴施設がある・フットパスがある
- ・クローケーやグラウンドゴルフをしている

【地域活動・教育】

- ・婦人会が活動していて女性が元気である
- ・近所付き合いが密である
- ・交流人口が多い(フットパス他)

【防災・安全】

- ・防災の意識が高い(訓練を毎年実施)
- ・消防署員が多い
- ・避難情報で避難所に来る人が増えた

【生活環境】

- ・レストラン・食堂がある
- ・歴史的遺産・自然の遺跡が多い
- ・自然が豊か

【その他】

- ・伝承活動ができている
(子ども念仏・秋祭り等)
- ・デマンドタクシーがある

高川地区の課題

| | |
|---|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の日直・宿直・プール監視員等の募集が大変 ・林業の担い手が少ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クアテルメ宝泉坊が存続の危機 ・総合病院が近くになく不安である <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域での負担が増えている ・役員になると、色々な地域活動に参加することが多く大変な時もある | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の新人がいない ・家が山際にあり、危険なところが多すぎる <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物するのに不便である ・車の運転ができないと、出かけられない ・耕作放棄地が増えている <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お寺の維持が難しい（川津） ・不要ではないかと思われる役がある（結婚相談員等） |
|---|--|

これからの高川地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地が増えている ・道路を含む草刈りが大変 | <ul style="list-style-type: none"> ・年に2～3回一世帯に1人が道作りを行っている | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントとして行う ・小部落でなく、大きな単位で行って慰労会をする ・動ける人はみんな出してもらう |
| <ul style="list-style-type: none"> ・役員になるといろいろな地域活動に参加することが多く大変 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区の再編を検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・若者の世代は、地区の垣根を越えて活動（若者に期待） ・地域全体でバックアップ |
| <ul style="list-style-type: none"> ・クアテルメ宝泉坊が存続の危機 | <ul style="list-style-type: none"> ・署名活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元利用を促す ・サロン活動に利用 ・地域づくり活動とタイアップ（桃まつりなど）PRをする |
| <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域での負担が増えている | <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ苦にならないように、楽しくできるようなやり方で行っている ・交流人口を増やしている ・子どもたちと一緒にいる | <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体でバックアップし現在の組織を継続出来るようにする |

社協からのコメント

高川地区には、温浴施設、竜馬脱藩の道等、地域資源が多くある。「桃源郷の里づくり事業」や「お試し移住専用住宅」などを拠点とする移住交流の促進がされており、少子高齢化する地域の活性化につながっている。また、愛護班活動が活発で、子どもを地域で育てる福祉の地域づくり活動になっている。

しかし、過疎化に伴う集落再編も考える時期になっている。若者の世代は、地区の垣根を越えて活動しているということなので、地域を担う若い世代に期待しているが、中高年・高齢者の支援が必要と思える。日頃のつながりが強く、助け合いのできる地域になっている。

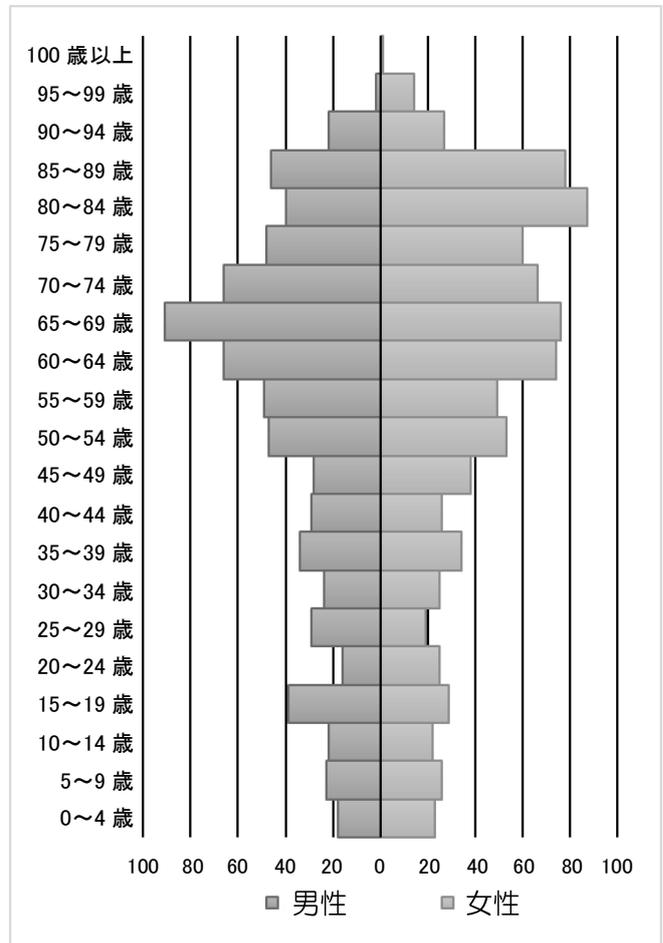
城川町 魚成地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 1,591 |
| 世帯数 | 695 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.3 |
| 年少人口 | 134 |
| 生産年齢人口 | 733 |
| 老年人口 | 724 |
| (うち75歳以上人口) | 425 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 45.5% |
| 自治会数 | 18 |
| サロン数(高齢者) | 6 |
| 民生・児童委員数 | 10 |
| (1人当たりの世帯数) | 69.5 |

※ 特別養護老人ホーム(寿楽苑)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

魚成地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・稲作、ゆず栽培が盛ん
- ・脱調組合がある

【健康・医療】

- ・ラジオ体操が流れる
- ・クロッカー、レクバレー、体操教室等で健康づくりに取り組んでいる

【地域活動・教育】

- ・華取り踊り等の伝統行事や駅伝、ミニバレー大会等の行事を行う
- ・地域づくり協議会で夕涼み会等に取り組む
- ・サロンで高齢者の見守りをしている

【防災・安全】

- ・自主防災会での避難訓練の実施
- ・消防団活動が活発で、点検や見守り等を行う
- ・支障木の除去を行っている

【生活環境】

- ・龍澤寺緑地公園があり、自然が豊かで、ホタルが飛ぶ
- ・道作り、草刈り、クリーン運動で環境整備
- ・鳥獣駆除を行っている
- ・福祉バスが運行している

魚成地区の課題

| | |
|--|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • ゆずの収穫の人手不足 • 働くところがない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 病院・歯科医院がない • 独居高齢者が増えている <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 婦人会の会員が少なくなった • 地域活動の役が多い • 組入りしない人がある • 年代ごとの考え方の違いがある | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 防災倉庫の設置がない地域もある • 災害時、自力での避難が困難な人が多い • 消防団員の減少（日中の団員不足） <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 道作りの人手不足、花壇の管理が困難に • 福祉バスのバス停まで遠く、移動手段がない • 食料品店がない • 空き家が多い • 駆除しているが、鳥獣が多い <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 魚成地区広い、総務区・組の活動のバランス |
|--|--|

これからの魚成地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|---|--|---|
| • 地域活動の活性化について | <ul style="list-style-type: none"> • おこもり、敬老会等地区で • 組入りや消防団への勧誘 • 夕涼み会等、地区行事と慰労 | <ul style="list-style-type: none"> • 各地区単位で行っているイベントを魚成全体で行う ⇒世代間交流を図る |
| <ul style="list-style-type: none"> • 独居高齢者の増加 ⇒声かけ・見守りについて | <ul style="list-style-type: none"> • 給食サービス、各サロン • 常会、行事の呼びかけ、近所でのおすそわけ等の声かけ | <ul style="list-style-type: none"> • 若い世代もサロン活動の周知 • 地域で見守り隊を発足 |
| <ul style="list-style-type: none"> • 病院がない ⇒健康づくりについて | <ul style="list-style-type: none"> • 検診・健康相談の活用 • (個人) 体操やウォーキング(地区) 運動会等の開催 | <ul style="list-style-type: none"> • ウォーキングコースを整備し、成果を披露する大会を開催(日頃か運動の機会を増やす) |
| • 防災について | <ul style="list-style-type: none"> • 消防団・自主防災会 • 防災備品の整備 • 防災マップの作成 | <ul style="list-style-type: none"> • 防災マップの更新 • 大規模な避難訓練の実施 • 災害時、要援護者支援 |
| • お店(食糧品)がない | • 移動店舗(ひがしくん)利用 | <ul style="list-style-type: none"> • 地域で販売所を運営 • 効率的な品物の配送システム |

社協からのコメント

少子高齢化により、地区の良いところと課題を見ると、道作り・花壇の整備、鳥獣駆除を実施しているが、人手不足などにより困難になっていたり、福祉バスが整備されていても、バス停までの移動手段がなかったりと、問題に対応しきれていない現状がうかがえる。

高齢者の集いの場、見守り活動のひとつにサロンが挙げられたが、「サロンとは何?」という声があり、サロン活動について幅広い世代に情報発信をし、活動について知っていただきたいと痛感した。隣近所でのおすそ分けや常会での声かけが、地域での見守りに繋がっている。このような地域の日々の見守りの基盤を活用し、さらに世代間交流を図り、地域の連携を密にすることが、安心して生活できる地域づくりに繋がるのではないかと考える。

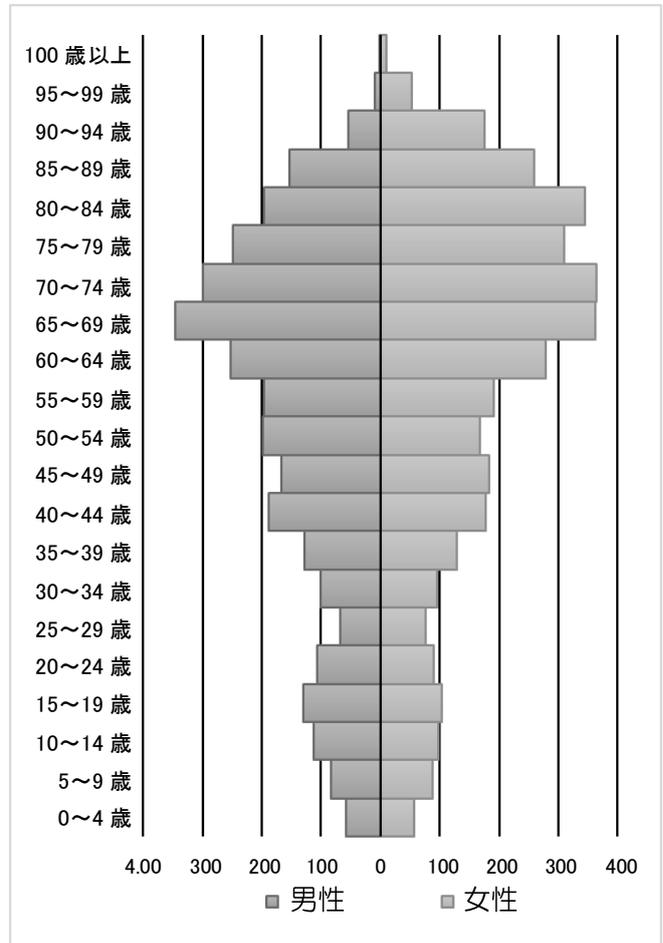
■ 三瓶地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 6,629 |
| 世帯数 | 3,305 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.0 |
| 年少人口 | 496 |
| 生産年齢人口 | 3,021 |
| 老年人口 | 3,112 |
| (うち75歳以上人口) | 1,745 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 46.9% |
| 要支援認定者数 | 156 |
| 要介護認定者数 | 480 |
| 自治会数 | 19 |
| サロン数(高齢者) | 11 |
| 民生・児童委員数 | 24 |
| (1人当たりの世帯数) | 138 |

※ 特別養護老人ホーム(皆樂園)、養護老人ホーム(三樂園)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



「地域福祉の将来像を考える住民座談会」

| | | |
|-----|------------------|------------------|
| 開催日 | 1回目 令和元年7月23日(火) | 2回目 令和元年9月27日(金) |
| 会場 | 西予市三瓶支所2階多目的ホール | |



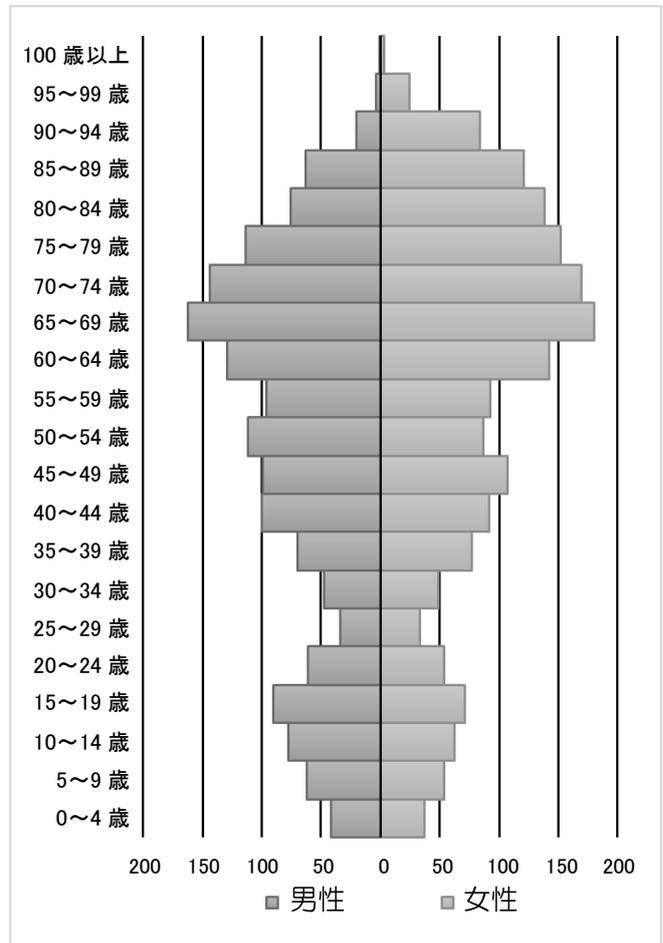
三瓶町 東地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 3,434 |
| 世帯数 | 1,645 |
| (1世帯当たりの人数) | 2.1 |
| 年少人口 | 335 |
| 生産年齢人口 | 1,644 |
| 老年人口 | 1,455 |
| (うち75歳以上人口) | 800 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 42.4% |
| 自治会数 | 10 |
| サロン数(高齢者) | 8 |
| 民生・児童委員数 | 12 |
| (1人当たりの世帯数) | 137.1 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

東地区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・みかん栽培
- ・じゃこ天がおいしい
- ・銀天街がある

【健康・医療】

- ・クロッケーの練習をしている
- ・三瓶病院(個人)がある

【地域活動・教育】

- ・町内会、十人組の組織がある
- ・秋祭りやこんぴら様のお祭りがある
- ・ふれあい広場がある
- ・ソーラン踊りがある
- ・ナイターソフトやレクバレーがあり、その後、飲み会もしている

【防災・安全】

- ・南海トラフ地震に備え、防災対策をしている
- ・子どもたちの朝の登校時、見守りをしている

【生活環境】

- ・クリーン運動をしている
- ・年2回(春・秋)集会所等の花植え、清掃活動をしている
- ・市道、河川敷の草刈りをしている
- ・植樹をしている
- ・上下水道の清掃をしている

【その他】

- ・人が良い
- ・地域のことを真剣に考えてくれる人がいる

東地区の課題

| | |
|---|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仕事が無い • 銀天街がシャッター通りになっている • 漁業組合が県下で一本化 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 老々介護になっており、病院が遠い • 昔はあった往診が無くなった <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 三瓶小学校が現在 222 名で、子どもの数が少なくなった | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消防団のなり手が無い、空き家が多い • 警察官が到着するのに時間がかかる <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 買い物に行く交通手段がない • 生活に車が必須であり、ゴミ置き場も遠い <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 隣近所との付き合いが少なく、冠婚葬祭が簡素化になっている • 区の役員決めが大変である |
|---|--|

これからの東地区を考える

| 課題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること | 期間 |
|-----------------------------|---|---|-------|
| • 空き家が多い | • 危険建物の把握 • 子どもたちへの見守り (安全・防犯 等) | • 家主に貸せる状態にしてもらうよう呼びかけ • 復興住宅活用への働きかけ | |
| • 銀天街がシャッター通りになっている | • 「銀ちゃんの仮装大賞」 • 子ども達による屋市の開催 | • 銀天街に集いの場 • 「潮彩館」に食堂 • 後継者向け雇用の場の確保 | |
| • 行政からの情報がもらえない | • 地域内の方への見守り • 地域外の方への対応 | • 地域住民の名簿作成 • 地域や隣近所の見守り体制づくり | |
| • 隣近所とのつきあいが少ない (十人組がない) | • 十人組がある地域もある • 昔からの冠婚葬祭を継続している地域もある | • 集まるきっかけづくり • 世代間の交流(飲食付) • 井戸端会議の復活 | |
| • 8050 世帯や、独居高齢者世帯が多い | • 地域の方の見守りがある | • 地域で見守りの強化 (昔ながらの見守り) • 福祉の十人組をつくる | 1 年程度 |

社協からのコメント

県下でも歴史ある「銀天街」があり、人口減少、後継者不足等により以前ほどの賑わいは影を潜めているが、住民主体のイベント等を通じて活性化を図っている。地域で南海トラフ地震等に備えた防災対策や子ども達の見守りなども積極的に行っており、「ふれあい広場」や「ひだまりクラブ」等の地域活動にも熱心に取り組んでいる。地域では町内会や十人組により人と人との繋がりもあるが、昔に比べるとその繋がりも希薄傾向にあるとの声も聞かれる。また、少子高齢化による生活道の管理や、買い物に行くことが困難な世帯の増加等の課題も出てきている。

今回の住民座談会の課題解決の話し合いにおいて、「昔ながらのご近所付き合いや冠婚葬祭、見守りや声掛けが、このような地域課題を即座に解決するきっかけになる。福祉の十人組をつくる！」といった力強いご意見もあった。ご近所同士の顔が見える、あたたかい「福祉の十人組」の実現に向けた地域づくりに期待している。

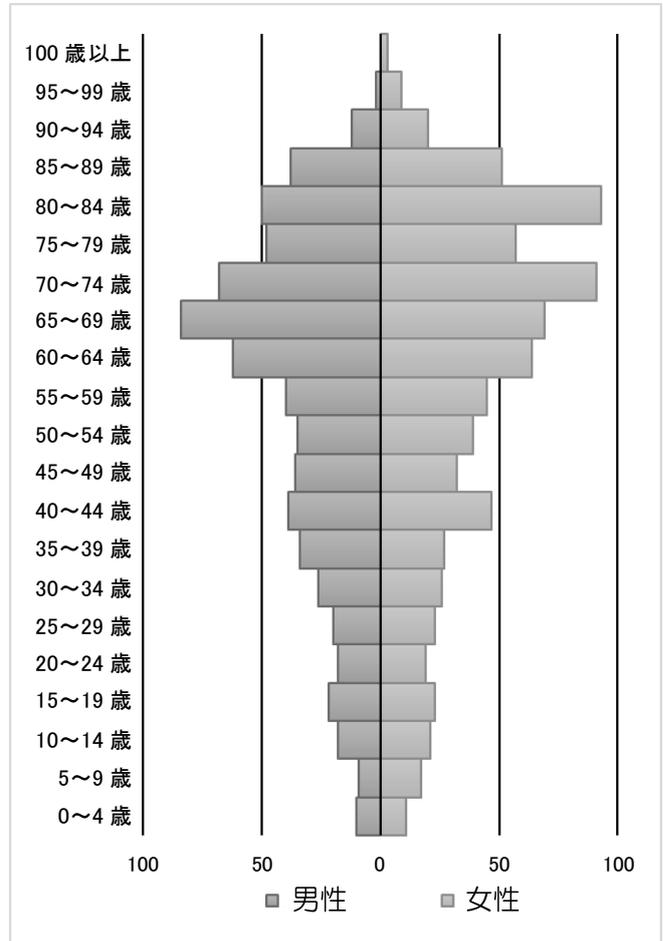
三瓶町 二木生地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 1,458 |
| 世帯数 | 763 |
| (1世帯当たりの人数) | 1.9 |
| 年少人口 | 86 |
| 生産年齢人口 | 677 |
| 老年人口 | 695 |
| (うち75歳以上人口) | 383 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 47.7% |
| 自治会数 | 3 |
| サロン数(高齢者) | 1 |
| 民生・児童委員数 | 5 |
| (1人当たりの世帯数) | 152.6 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

二木生地区の良いところ

【健康・医療】

- ・クローケー（毎日）
- ・健康体操教室がある（毎週 火曜日）
- ・高齢者のウォーキングしている人が多い（増加）
- ・ひだまりクラブ活動がある

【地域活動・教育】

- ・地域行事の伝承（夏越祭、神楽部、亥の子等）
- ・公民館活動が充実している
- ・3世代交流事業が多い
- ・草刈り活動がある
- ・高齢者のゴミ出し手伝いをしている
- ・ひな祭り等、趣味を活かした活動をしている人たちがいる

【防災・安全】

- ・にきぶ地域づくり会を通して、防災が向上
- ・団員以外の消防団（機能団員）活動ができそう
- ・自主防災、地域づくり

【生活環境】

- ・海や空気がきれい
- ・移動販売が来る（JA&ひろみ号）
- ・あいさつが出来ている（話しかけ）
- ・主要道路（R378）道幅が広い

【その他】

- ・人と人とのつながりがある
- ・人情が厚い
- ・老人のパワーがある

二木生地区の課題

| | |
|--|---|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無い（高齢者が不便） ・職場がない ・昼間に若者がいない（地域に職場が無い） ・良い職場が無いので、すぐに仕事をやめる <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関が遠く、交通手段が無い ・病院が無いので、病気が心配 <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化により、地域活動が出来ない ・参加者が決まっている | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機意識が低い ・避難道が確保できてない ・空き家が多い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無くなり、生活面に支障をきたしている（生活必需品の確保困難） ・道が狭い（車が入らない） ・バス便が少ない ・子どもが少ない（少子化） ・若い世代の減少 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔に比べて、住民のつながりがうすい |
|--|---|

これからの二木生地区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|-------------------------|---|---|
| ・危機意識が低い（防災） | <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施 ・避難訓練による啓発 ・避難道などの現地調査 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップづくり ・炊き出し訓練、避難訓練 ・消防団の機能団員の活用 |
| ・医療機関が遠く、交通手段が無い | <ul style="list-style-type: none"> ・家族で送迎 ・公共交通機関の利用 ・各自でタクシーを手配 | <ul style="list-style-type: none"> ・通院者がバス停にいたら、乗せて帰る |
| ・昔に比べて、住民のつながりがうすい（都会化） | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能の継承 ・地区で敬老会を実施（つながりを深めている） | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが集まりやすい行事の計画、活性化 ・各行事に参加してもらう |
| ・店が無い（高齢者が不便） | <ul style="list-style-type: none"> ・巡回車による移動販売 ・衣料品の移動販売 | <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人に声を掛けて、一緒に行く |
| ・高齢者のゴミ出し | <ul style="list-style-type: none"> ・親族による助け合い ・毎回ではないが、知り合いの手助け | <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションが国道を挟んでいるので、高齢者の替わり出す |

社協からのコメント

地域行事の伝承など、人と人のつながりが強く、また、クローケーや健康体操など、高齢者のパワーも大変豊かな地域である。しかし、若い世代や子どもの減少、空き家の増加、商店や医療機関が遠いなどの課題もあり、地域のつながりや高齢者のパワーなど「地域力」の高さを生かして、課題の解決に取り組んでいただきたい。また、沿岸部という事もあり、津波など防災に関する意識が高く、地域で避難訓練が実施されており、今後も地域の防災に関する取り組みも更なる充実を図っていただきたい。

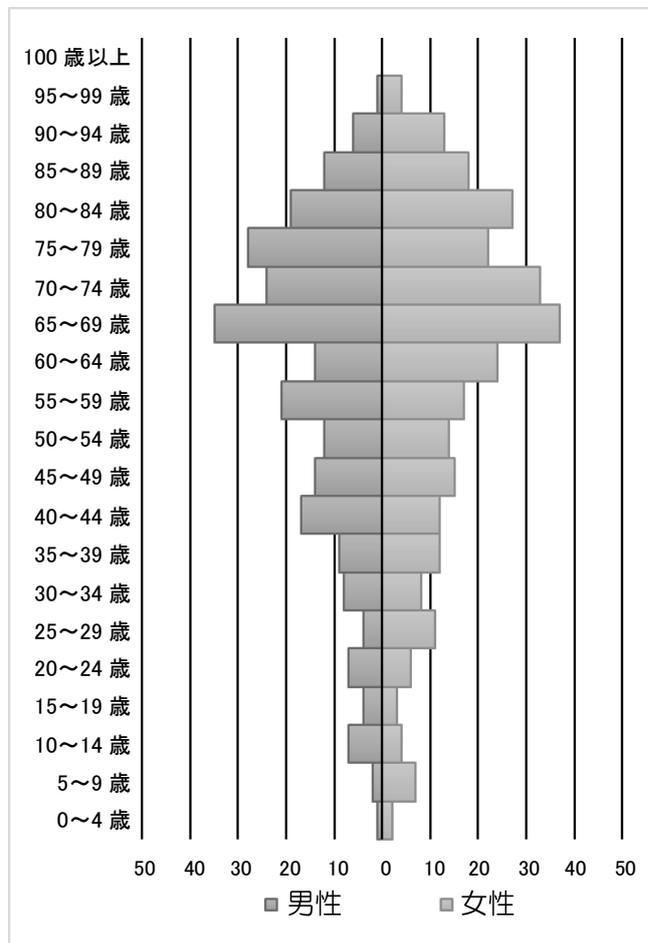
三瓶町 周木地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人 口 | 534 |
| 世帯数 | 277 |
| (1世帯当たりの人数) | 1.9 |
| 年少人口 | 23 |
| 生産年齢人口 | 232 |
| 老年人口 | 279 |
| (うち75歳以上人口) | 150 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 52.2% |
| 自治会数 | 1 |
| サロン数(高齢者) | 1 |
| 民生・児童委員数 | 1 |
| (1人当たりの世帯数) | 277 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

周木区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・小釣り組合の活動
- ・みかん作り
- ・中国、ベトナム人の雇用

【健康・医療】

- ・いきいきサロン
- ・ゲートボール・カラオケで認知症予防

【地域活動・教育】

- ・盆踊り、秋祭り、春ずもう
- ・老人クラブの活動・宮山下刈り
- ・いかだ集会・あじさい会
- ・おばちゃん達と一緒に料理を楽しむ
- ・手芸グループで楽しむ

【防災・安全】

- ・自主防災組織が構成されている
- ・避難場所
- ・非常食の備蓄

【生活環境】

- ・消防団・区一斉消毒
- ・道普請
- ・遊園地、周木小学校跡地清掃

【その他】

- ・区民が協力的、住みやすい
- ・近所の高齢者におかず等を、時々配っている
- ・ひまわり会・ひなたぼっこ

※道普請…地域住民の協働活動で、道路や水路などの修理・草刈りを行う勤労奉仕の作業

周木区の課題

| | |
|---|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場が無い ・若者が少ない ・子どもが少ない <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が多い ・健康管理意識 | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無い ・交通の便が少ない（交通弱者） ・空き家の増加 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店（農協）があっても閉まるのが早い |
|---|--|

これからの周木区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること | 期間 |
|---|---|--|------|
| ・店が無い | <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブスーパーしゅう ・えひめ生協 | <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車の誘致 | 今年度中 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が少ない（交通弱者） | <ul style="list-style-type: none"> ・乗り合わせて病院に行く | <ul style="list-style-type: none"> ・行政へ呼びかける | 2～3年 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が低い | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織を構成 ・非常食の備蓄 ・避難場所の設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練と一緒に非常食の試食会をする ・防災マップの作成 | 2年 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・体操教室の開催 ・料理教室の開催 ・いきいきサロン | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと老人でクローケー交流大会をする | 1年 |

社協からのコメント

| |
|--|
| <p>周木区は、過疎化・少子高齢化が年々顕著になってきているが、元気な高齢者が多い。</p> <p>避難訓練に合わせた非常食の試食会・防災マップの作成を実行することで、より防災意識が高まると思われる。</p> <p>移動支援・買い物支援等の課題については、地域の支え合い・助け合い活動や移動販売車の誘致等の社会資源の活用で、高齢者が暮らし続けられる地域をつくる必要がある。</p> <p>伝統行事やお祭りの継承もされており、「支え合いの地域づくり研修会」を開催する等、地域づくり活動に住民が積極的である。地域活動の種類も多く住みやすいと感じている住民が多い。世代間交流イベントや集いの場（ほがらか衆&おしゃべりクッキング教室・ひなたぼっこ等）が広がっていくことを期待している。</p> |
|--|

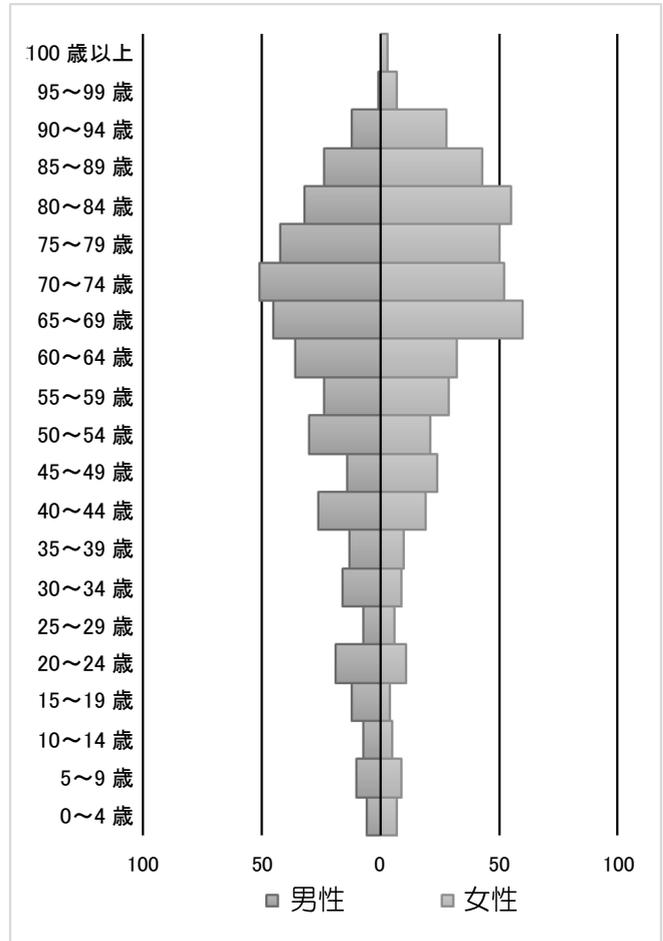
三瓶町 蔵小校地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-------|
| 人口 | 911 |
| 世帯数 | 466 |
| (1世帯当たりの人数) | 2 |
| 年少人口 | 44 |
| 生産年齢人口 | 362 |
| 老年人口 | 505 |
| (うち75歳以上人口) | 297 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 55.4% |
| 自治会数 | 4 |
| サロン数(高齢者) | 1 |
| 民生・児童委員数 | 5 |
| (1人当たりの世帯数) | 93.2 |

※ 特別養護老人ホーム(皆楽園)、養護老人ホーム(三楽園)の人口は除く
(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

蔵小校区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- みかん栽培が盛ん、魚が釣れる

【健康・医療】

- 海・山・自然が豊かで、ウォーキングに適している
- 診療所があることは、安心
- 子どもが元気、高齢者ががんばっている

【地域活動・教育】

- 公民館で趣味・健康づくりの活動がある
- 伝統的な祭りの継承、敬老会、運動会を開催
- 各戸を回って町費の集金が声かけ・見守り
- 通学バスの見守り活動がある

【防災・安全】

- 消防団の活動が心強い
- 砂防ダムがある

【生活環境】

- 移動販売やAコープ・郵便局がある
- 海が近く、豊かな自然がある
- メダカ・ホタルの育成、あらパークの整備

【その他】

- 子育て世代が多く、悩みや情報を共有できる
- 地域で子どもへ温かい声かけをしてくれ、地域全体で子育てができる雰囲気がある
- 人情が厚く、顔見知りが多いので、気軽に挨拶ができる

蔵小校区の課題

| | |
|---|---|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者（労働人口）が少ない ・農・漁業のために、国道 378 号の拡幅が必要 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療の緊急体制が弱い ・専門医への通院が困難になる <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の役員のなり手が少ない ・老人会・婦人会等の組織がない ・老人会への入会者が少ない ・活動資金の確保 | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の参加者が限られる ・津波発生時の対策が弱く、災害時に孤立することが考えられる ・空き家が多くなってきた <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場に危険が多い（川・海） ・店がなくなれば、買い物に困る ・遊具で遊べる公園がない ・ポイ捨てが多い |
|---|---|

これからの蔵小校区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること |
|---------------|---|--|
| ・防災、減災について | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施 ・防災倉庫の整備 ・避難所拠点整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料、水の増量（3 日分） ・二次避難場所の確保 ・防災マップ、要援護者の対応 |
| ・地域活動の担い手について | <ul style="list-style-type: none"> ・常会長を家の順番で決める ・役員の負担を減らす役割分担 ・老人会、ボランティアが環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の理解を得る ・強制的に役員に、後継者育成 |
| ・専門医への受診が困難 | <ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用 ・親戚等が送迎を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・助け合いの送迎は、事故の心配がある（タクシー利用者へ補助等の仕組みがあれば） |
| ・買い物が不便 | <ul style="list-style-type: none"> ・JA、コープの利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車の利用を進める |
| ・活動資金の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・手上げ型交付金を活用して、地域の活性化（めだかの学校、運動会、太陽会） | <ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている事業の推進 ⇒団結力が生まれ、地域活動が活性化 |

社協からのコメント

海と山に囲まれ、自然が豊かで、地域全体であたたかいあいさつや声かけがあり、子どもから高齢者までが安心を実感できる暮らしが営まれている。また、公民館等での趣味の活動が盛んに行われており、健康や生きがいに繋がっていると感じた。市内の他地区においても、少子高齢化により地域活動の担い手不足が課題となっているが、強制的ではあるが順番に役をまわすことで、後継者の育成ができていくように思う。印象的であったのは、交付金を活用して「行事や活動を行うことで、地域の繋がりが密になり、団結力が生まれ、地域活動が活性化する」という意見だった。地域の活動が盛り上がることにより、住民の笑顔や誇りに繋がって、郷土を愛し、人を育てるあたたかい環境が育まれると感じた。

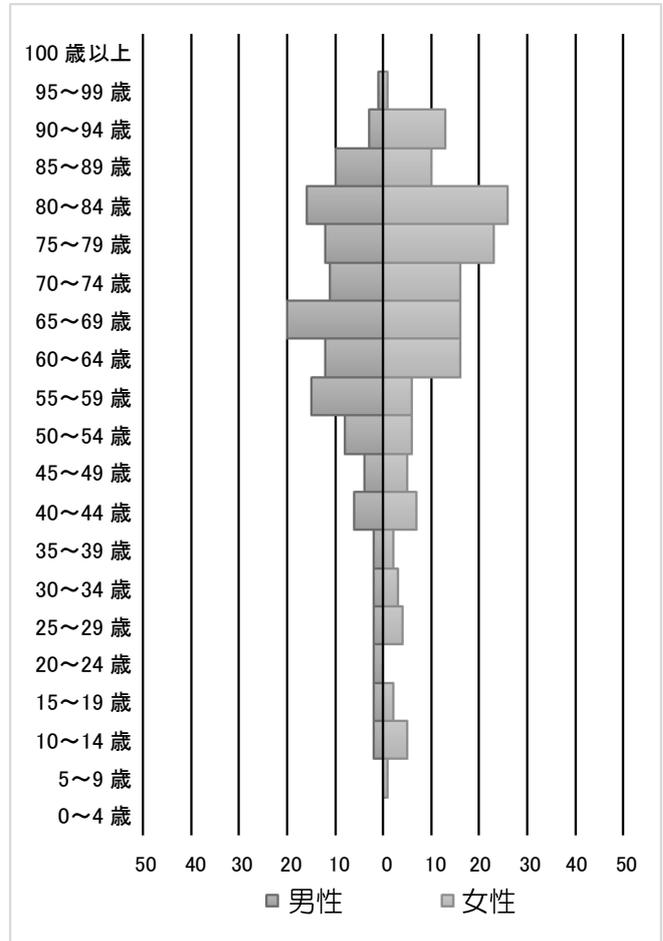
三瓶町 下泊地区

統計で見る地域の特性

| | |
|-------------------|-----|
| 人 口 | 292 |
| 世帯数 | 154 |
| (1世帯当たりの人数) | 1.9 |
| 年少人口 | 8 |
| 生産年齢人口 | 106 |
| 老年人口 | 178 |
| (うち75歳以上人口) | 115 |
| 高齢化率(小数点第2位使四捨五入) | 61% |
| 自治会数 | 1 |
| サロン数(高齢者) | 0 |
| 民生・児童委員数 | 1 |
| (1人当たりの世帯数) | 154 |

(平成31年4月1日現在)

人口ピラミッド



(平成31年4月1日現在)

下泊区の良いところ

【産業・仕事・雇用】

- ・馬糞ウニがこずかいかせぎ
- ・家庭菜園の家が多い

【健康・医療】

- ・畑仕事で足腰が鍛えられる
- ・診療所がある

【地域活動・教育】

- ・近所付き合いが良い
- ・個人ボランティア活動が少しはある
- ・老人のゲートボール活動
- ・高齢者の交流
- ・老人クラブ等、団体と常会(町内会)の連携がある

【防災・安全】

- ・津波防災の意識が高い
- ・防災に対する意識が少しずつ出ている

【生活環境】

- ・生活エリアがコンパクト
- ・集会所と公民館がある
- ・困った時に周りが助けてくれる
- ・海と山の両方があり環境が良い

【その他】

- ・人情が厚い、人と人とのつながりがある
- ・自然が豊かで時間がゆっくり
- ・海の幸、山の幸が新鮮で味わえる
- ・宿泊施設が2か所ある

下泊区の課題

| | |
|---|--|
| <p>【産業・仕事・雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働く所がない 地元の産業、仕事が少ない 農業、水産が大きく後退 <p>【健康・医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門の病院がない 医療機関が遠い 急病で救急車の時間が心配 病院までのバス事情が悪い <p>【地域活動・教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動の担い手不足、高齢化 | <p>【防災・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道 378 号生活道路が 1 本で災害時孤立に 道路事情が悪い 救急対応が悪い <p>【生活環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金融機関がなくお金の出し入れができない 危険な空き家が多い 高齢者・独居世帯が多い 高速のインターまで遠い 若い人がいない <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 超限界集落 75 歳以上 35% |
|---|--|

これからの下泊区を考える

| 課 題 | 地域で行っていること | 地域で出来ること | 期間 |
|-------------------|------------------------------|----------------------------------|----|
| ・買い物が不便 | ・仲良しグループで対応 | ・買い物の代行及び車両の準備 | 未定 |
| ・地域活動の担い手不足 | ・高齢者の頑張りがある | ・今ある地域団体の活用 ・女性の活躍に期待 | |
| ・消防団員がいない | ・地区外転出者の勧誘 | ・婦人防火隊、消防団 O B の活用 | |
| ・農家が減少し農道の管理が困難 | ・区民による道作り行事 ・利用者による除草剤の散布 | ・地域住民による里に近い所からの管理 ・管理委員会等の新設 | 5年 |
| ・急傾斜が多く宅地の裏山管理が大変 | ・所有者の確認 | ・管理委員会等の新設 | 5年 |

社協からのコメント

| |
|---|
| <p>三瓶町の中でも下泊地区は一番南の端にあり、専門病院まで遠く交通アクセスが悪いことに不便さを感じられている。また、主な生活道路が 1 本しかなく災害時の孤立も心配。</p> <p>一方で海と山に囲まれた豊かな自然環境でゆっくりした時間を過ごされている様子。</p> <p>地区の課題には、農道や宅地裏山の管理について挙げているが、管理委員会等の新設など、組織的な取り組みでの課題解決も考えられている。</p> <p>座談会では、意見のくい違いもありながら、参加者が積極的に討議に参加されていた。</p> |
|---|

1 西予市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 この委員会は、社会福祉法人西予市社会福祉協議会（以下「本会」という。）が、社会福祉法（昭和26年法律第45号）第109条に規定されている地域福祉を推進するため、西予市地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）を策定することを目的とする。

(名称)

第2条 この委員会は、西予市地域福祉活動計画策定委員会（以下「委員会」という。）と称する。

(任務)

第3条 委員会の任務は次のとおりとする。

- (1) 活動計画策定に必要な実態やニーズの把握、問題・課題の整理及び分析
- (2) 活動計画の策定
- (3) その他、活動計画策定のために必要な事項の協議

(構成)

第4条 委員会は、16名以内の委員をもって構成する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから本会会長が委嘱する。

- (1) 住民の代表者
- (2) 民生児童委員協議会の代表者
- (3) 高齢者の代表者
- (4) 障がい者の代表者
- (5) ボランティア団体の代表者
- (6) 社会福祉施設関係者
- (7) 行政関係者
- (8) その他本会会長が必要と認める者

3 委員会に、活動計画の策定に関して必要な助言を行う地域福祉推進アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）を置くことができる。アドバイザーは委員を兼任することができる。

(委員会)

第5条 委員会に委員長1名及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選による。
- 3 委員長は、委員会の会務を統括する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は委員長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初に招集される委員会は本会会長が招集する。

2 会議は委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要に応じ委員以外の者に会議への出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、場合によっては、資料の提供を求めることができる。

(任期)

第8条 委員の任期は、活動計画の策定が終了する日までとする。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(費用弁償等)

第9条 本会会長は、予算の範囲内において、委員会に出席する委員及びアドバイザーに対し、費用弁償または報償を支払うことができる。ただし、行政関係者については支払わない。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、本会地域福祉課で行う。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

附 則

(施行期日)

この要綱は、平成29年10月10日から施行する。

(この要綱の執行)

この要綱は、平成31年3月31日限り、その効力を失う。

(要綱の延長)

この要綱は、平成30年12月26日付、30地第107号西予市地域福祉策定期限変更に伴い策定完了までその効力を延長する。

2

西予市地域福祉活動計画 策定委員会 委員名簿

| 選出区分 | 氏名 | 所属（選任時所属） | 策定委員会の役職 |
|---------------|--------|---------------------------|----------|
| 住民の代表者 | 濱田 又治 | 明浜地区住民代表 | |
| | 岩本 明定 | 宇和地区住民代表 | |
| | 宇都宮 紀子 | 野村地区住民代表 | |
| | 大崎 五郎 | 城川地区住民代表 | |
| | 三好 幸二 | 三瓶地区住民代表 | 委員長 |
| 民生児童委員協議会の代表者 | 山村 万太郎 | 明浜地区民生児童委員協議会 | |
| | 宇都宮 宏嗣 | 宇和地区民生児童委員協議会 | |
| | 渡邊 綱介 | 野村地区民生児童委員協議会 | |
| | 兵頭 千ヨカ | 城川地区民生児童委員協議会 | |
| | 杉本 類治 | 三瓶地区民生児童委員協議会 | |
| | 木下 弘規 | 西予市民生児童委員協議会 市代表主任児童委員 | |
| 高齢者の代表者 | 上甲 住夫 | 西予市老人クラブ連合会 | |
| 障がい者の代表者 | 横山 正近 | 西予市身体障害者協会 | |
| ボランティア団体の代表者 | 大塚 英子 | 西予市ボランティア連絡協議会 | 副委員長 |
| 社会福祉施設関係者 | 亀岡 智 | 西予市老人福祉施設協議会 | |
| 行政関係者 | 池田いずみ | 西予市福祉事務所 福祉課長 | |

(令和2年4月時点)

※ 所属については、選出時の所属

※ 敬称略

3

アドバイザー

| 所属・役職 | 氏名 |
|----------------------------|-------|
| 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科 教授 | 高杉 公人 |

※ 敬称略



第1期西予市地域福祉活動計画

(令和2年度～令和6年度)

発行 社会福祉法人 西予市社会福祉協議会
〒797-1212
愛媛県西予市野村町野村 12号 15番地
電話 0894-72-2306・FAX 0894-72-0024